新しい婦人

九週年紀念號

第九拾五號

四月號

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正十年三月二十六日印刷納本
大正十年四月一日發行（毎月一回一日發行）

診察毎朝、但祭日及日曜の他
院長診察月、木、金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町三番町三十番地（市ヶ谷見附上）
電話 九段（六二番 六三番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話 ちがさき二番

南湖院

相模國茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日午後入院 診後應需
診察毎日午后、但祭日及日曜の他
◎募看護婦志願者及雜事

ヤマサ醤油は
品質のよきこと
日本一
各地到る處の
酒醤油店にて
販賣せり
宮内省御用達
最上醤油元祖
上
ヤマサ醤油
開業二百七十六年
醸造元
濱口儀兵衛商店
千葉縣銚子港

（流行新形各種）

明治元年ヨリ引續キ洋傘ヲ營業ス

洋傘　鞭杖

仙女香

坂本商店

東京市京橋區南傳馬町三丁目

電話京橋

一四四六

本店ハ卸小賣共精良品ヲ撰ビ安價ニ調進ス

（廣告）

日清生命保險株式會社

專務取締役
池田龍一

支配人
原田駒之助

丸之內東京驛前

胃腸藥タラコン

見よ！その由來その靈驗

村井弦齋先生發見

此タラコンは中世紀に於て既に補精益氣の妙劑延命長壽の奇藥として珍重されたのですが村井弦齋先生は更に之が胃腸に靈驗あることを發見して弘く天下に施藥し重症の胃腸患者を救はるること實に二千五百有餘人弊園か故淺田宗伯先生秘法の靈劑と配伍するに及び愈愈其靈驗を發揚し實驗者の禮意を表せらるるもの無慮一萬餘に上り帝大教授及熱心なる専門家の研究に依りタラの成分の闡明せられ世界に發表せらるるに至て愈愈益益聲價を揚げ今や内は某宮家を始めまつり上下各階級に普く需用せられ外は米國及加奈陀を始め遠く海外各地に輸出せらるるに至りました此藥は第一に弛緩したる胃腸の筋を緊縮し胃腸アトニー胃擴張胃下垂等にて胃腸の伸縮し蠕動する力が衰へて消化不良を起し或は食物が胃腸に停滯へ便秘する人下痢する人何れも卓効があります。第二には胃液を整へ其分泌を順當にして胃酸過多の人、胃液の少い人酸ひ水や苦い水やゲツプの出る人空腹の時胃腸の工合惡しく或は疼痛を感ずる人特に胃潰瘍には最も靈驗があります。第三にはタラの一種の不可思議なる刺戟の力で胃腸に生じたる異生物を驅除し手術の外療法なき癌腫にさへ驚くべき效果を奏します更に此藥の配伍を變へた所のタラコン糖尿湯は糖尿病に靈驗を顯はし第四特方タラコン湯は醫師も治療の途なしとする腸結核の下痢發熱盗汗を治して大に健康を增進し驚嘆すべき成績を現はします人生幸福の源泉は健康で其健康の基礎を爲すものは實に胃腸です弊園は此幸福の根源たる胃腸の藥として今日此タラコン以上の靈藥は決して他にないことを斷言致します藥價散藥煎藥各五十錢一圓二十錢二圓五十錢五圓十圓送料十二錢海外四十五錢第五特方タラコン湯糖尿湯盲腸湯一圓五十錢三圓六圓十二圓送料同前

胃腸新藥 タラコン精

タラコンの有効成分を稠厚エキスに製したるものなり臨床醫家の御試用を乞ふ

◎藥價八十錢一圓五十錢三圓送料同前

東京小石川下富坂町廿

無量壽藥園

（電話小石川二九五六番 振替東京二〇〇二一番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理容館春の化粧料

春の特製ライラック水	白粉下さ荒止として是非	.80
春の御顔用白粉	立派な氣高き化粧榮と	.70
春の御襟用水白粉	彩生なろ眞美となろ爲に	.70
春の緑色水白粉	淡白で自然味を出す爲に	.80
春の御顔用石鹼	妙ともお顔だけはこれで	.70
春のキユーリ製植物液	化粧水は純植物液が第一	.90
春の本場極上椿油	毛の爲、枝毛の爲髮の爲	.70
春のハイジエニツク、クリーム	化粧下荒れ止としての命	.90

皆一、二、遠藤波津子先生實驗證明濟です

宮家御用品

春の御化粧と着付けには、斯會獨歩の遠藤先生化粧所へ……

晴の御婚禮化粧仕度御一生の大禮、いやが上にもお美しく、……

東京新橋竹川町十二　電車出雲町竹川町　理容館　電話銀座一、一七二番　振替東京一四、一〇〇番

にきびをとり●ひぜん、たむし、いんきんなどの皮膚病を治し●傳染病の豫防に效力あり●あらゆる消毒に用ふれば硼酸石炭酸の代りとなり又化粧用手洗用にも適し重寶此上なきしやぼん也

定價 小 拾錢 大 廿錢　送料 一個 二錢 一打入一函 拾八錢

東京銀座 精錡水本舖

▲目藥のオーソリティー▲

定價 拾錢 廿錢

近來同名の擬藥多し御注意を乞ふ

岸田吟香商店　電話京橋六一五　振替東京四七八七

喜谷實母散

產前產後血の道の良藥

萬の藏より子は寶！

主治効能

▲子宮病▲血の道
▲こしけ▲下腹痛み
▲足腰冷込▲難產流產
▲月經不順▲產前產後
▲氣ふさぎ▲白帶赤帶
▲經期腹痛▲逆上頭痛

◎僞物あり御求めの際は喜谷實母散と御名指願上候

實母散本方定價表

一貼	三貼	七貼	十四貼	三十一貼
貳拾錢	五拾五錢	壹圓廿錢	貳圓卅錢	五圓
郵送料				
二錢	同	同	六錢	十三錢

實母散加減定價表

一貼	三貼	七貼	十四貼	卅貼
貳拾參錢	六拾五錢	壹圓五拾錢	貳圓九拾錢	六圓
郵送料				
二錢	同	四錢	六錢	十三錢

東京市京橋區中橋大鋸町

本舖 喜谷市郎右衛門

電話京橋五五番五六番

振替口座二一一五四

●全國到る所の藥店に有り升●

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

圖夏模様新圖案陳列
同應用模様陳列
自四月二十二日
至同　二十九日

圖五月人形陳列會　一日より

春季大賣出し　四月一日より
寄切れ格安反物陳列

圖中形絞り浴衣地陳列　一日より

圖春向特製洋服外套陳列　一日より

白木屋呉服店

花咲く頃のお召物

柄も品も申分のない本年の流行品、何から何まで
取揃へて御座います、御散策のお序に是非お立寄を

四月
一日より

春衣大賣出し
◇よせ裂見切反物賣出し
◇特製五月人形陳列

松坂屋いとう呉服店

（東京上野）

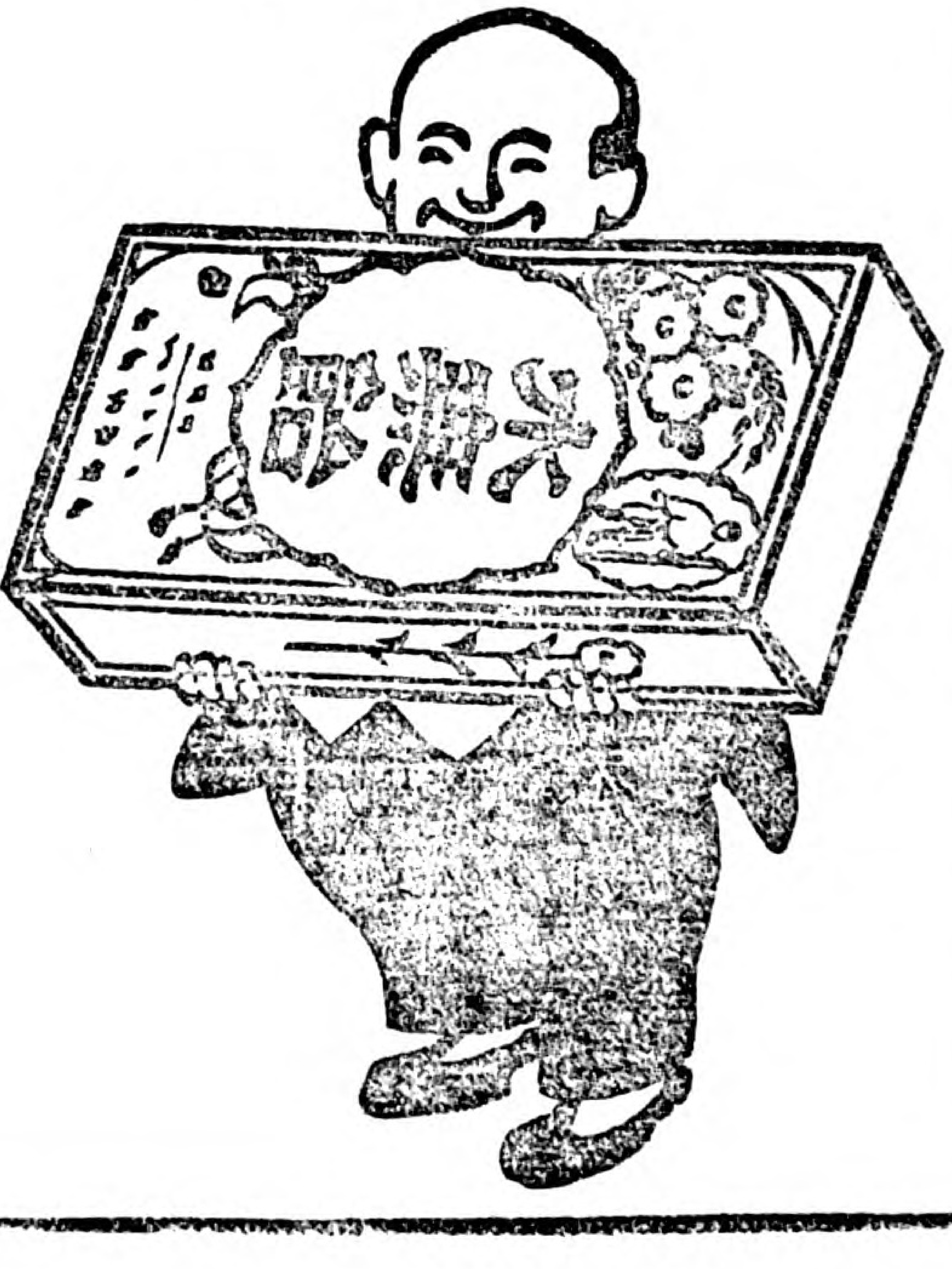
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學習院御用

純國産 今村の

水無飴

ミルクチヨコレート

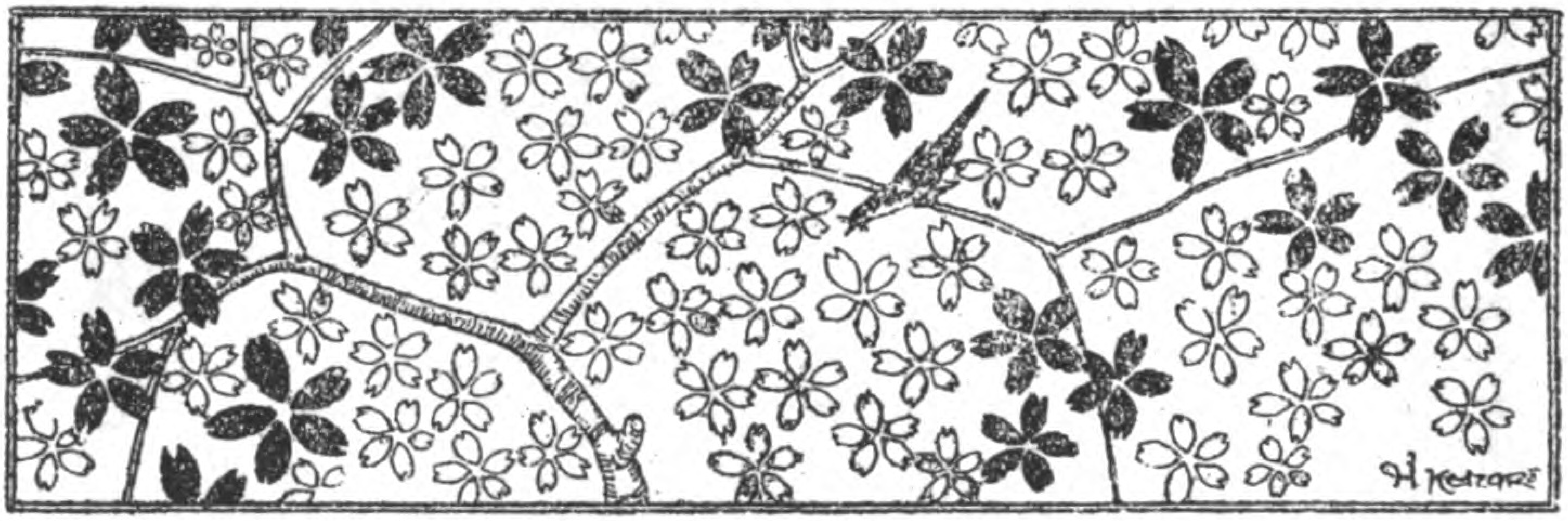


東京三田

製造元

今村製菓株式會社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



(九週年紀念號)

四月號 新眞婦人 九十五號

坂たね子刀自に與ふる書 …… 西川文子
天道是か非か
同情と理解 …… ベン・ビ・リンドゼー
ラヂーム塗りの時計
童謠に就て …… 中沖清子
春淺く …… 鷲尾よし子
小兒服裁ち方縫ひ方(四) …… 幸登子
女子夜學機關を所望する動機に就て …… FT女
可愛子供との別れ …… 尼子松代
女達に …… 唐澤純正
その俤 …… 東大寺太代
ロミオとジユリエツト …… 西川文
若き悲しみ …… 大谷華子
草花の月 …… 尾崎恒子
竹の子の料理五種 …… 松宮しん子
手紙の中より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

坂たね子刀自に與ふる書

西川文子

坂たね子刀自は名古屋市の女長者と云はるゝ有數の家作持老寡婦で、これまで借家人虐めの酷びしいので、市民から鬼婆と云はれて來たのですが、今度其全財産千三百萬圓を慈善事業に投ぜらるゝと云ふのです。

坂たね子刀自

貴女は今回千三百萬圓と云ふすばらしい、貴女の財産全部を以て、坂文種公益團と云ふ財團法人を起し、慈善事業に投げ出されると云ふので、それが大變な評判になつて、當地の各婦人雜誌社は記者を派して、筆を揃へてかき立てました、特派員は、御地で貴女を知れる、知らざる人々から、貴女の噂を聞き、貴女の借家に住む千數百軒の店子は苛酷な家主さんと云ひ、世評はあの高利貸の鬼婆さんに、そんな事がありえやうとは信じられぬと云つてゐると傳へました。

併かし他の一面では貴女の亡夫も貴女も大の信仰家でお寺を一寄進で建てられたり、毎月數回の墓參を缺かされぬほどの信者だから一大發心されたものだらうと其德を讃美して居ると傳へました。

坂たね子刀自

私は夫等の記事を讀んで、遺憾に堪えないのです。なぜもつとよき相談相手がなかつたかと思ひます。又こうした心持が起つた時廣く社會に問はれたらばと思ふたのでした。尤も夫を亡くしてから十五年間に財産を三倍にされたほどの意志の強い貴女の事だから、助言者があつたからとて、强がちそれをお用ゐにならぬかも知れませんが。

さて其慈善事業と云ふのは、千三百萬圓の財團法人にして、それから上る利子毎年二三十萬圓を公會堂の建設、道路の改修、或は奬學金の提供、其の他の項目に向けらるゝのだ相ですが、それは滿更無用な事ではないでしやう。社會から云へば大に感謝しなければならぬ事でしやうが、貴女自身としては、これまでの懺悔

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の具體化されたものとしては、貴女の徳を發揮するのに、それが何ほどの効果がありましやう。右の事業は貴女が出さなければ、必要に應じて他の富豪なり、社會なり、市からなり出るものではありませんか。

貴女としては先づ何よりも、親類縁者と睦み合ひ、養子された人の籍を入れられるとか、(兎角誰れでも近親者は面白く思はないで、縁もゆかりもないものに親しくするものですが、財産家には特に此弊害に陥り易いものです。)或は店子全體の家賃を半減し、又其財産でドシ／＼家を建てゝ、廉くお貸しになる事が最良策だと思ひます。そうする事によつて、親類には喜ばれ、これまで隨分高い家賃で苦しめさせられたと云ふ店子にも感謝され、他の多くの家主に反省をさせる手段ともなつて、借家拂底の今日一般の市民をどんなに救ふ事が出來るか知れません。かうした具體化された慈善事業でない以上、貴女の今回の擧は、死後大切な財産全部の維持を、政府の力によつて保護されやうとてだと、口さがない市民に云はれても仕方がないではありませんか。

坂たね子刀自

御地方には佛教の信者も多く、從つて多額の寄進をして寺院を建立さるゝ人もよくありますが、それは信仰のあまりと云へば結構ですが、佛樣に奉仕する事は、佛樣の尤も愛される衆生を愛するのが一番でなうて他に何がありましやう。私は繰り返し申ますが、貴女が切角多額の全財産を投げ出されるならば、佛樣とか社會とか財團法人とか云ふ樣なばあつとした、しかも面倒な組織にされなくとも、本當に個人の奥深く徹底的に喜ばるゝ樣に、貴女自身もそれによつて、本當に喜ばるゝ樣に、親類縁者と親しみ、隣人を愛し、之れまで憎んでゐた人を、愛し愛され同情し同情さるゝ樣に極手近な事で、一日も早く具體的に其實を擧げらるゝ樣であつて欲しいと希ひます。

私はこれは貴女のみに云ふのではありません、一般富豪が慈善をしやうとする場合、いつでも、直接人間に關はりのない、堂々たる永久不滅の公會堂や寺院になりたがる傾向があるからです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天道是か非か

(前略)私の父は、それは〳〵我儘で、お妾も三人ももつて居る樣な始末、それでも來る人も來る人も先生〳〵と尊敬して居ります。然るに私の母は、それは〳〵能く出來た人で、云へば爭ひになるので、何んにも云はずに、よく父に仕へて居ります。私は世間の事は何にも存じませんが、母を氣の毒に思ふ所から、神や佛があるものならば、何んとかもつと母の爲めに盡して下さる筈と、神佛の存在をさへ疑ふに至りました云々(良子)

貴女のお父さんが、人々から相應に尊敬されてるのは、御先祖の餘德で、資産もあり、敎育も受けることの出來た結果でありましよう。若しも此の上に御尊父樣が品性の高い、品行の方正な方であれば、更に尊敬されましよう。不幸にして御尊父樣は、品行方正でないから、先祖の餘德や敎育の力で、表面人々から相應に尊敬されてる樣であつても、陰では隨分惡口も云はれて居ります。されば旣に罰を當てられてるわけではありませんか。

又お母さんの、御氣の毒な身の上であらるゝのは、一は結婚前に、男子の品性と云ふことに充分注意を拂はざりし、不注意の結果でありましよう。けれどもお母さんは、一旦結婚した以上は、夫をどこまでも夫とあがめ、忍耐に忍耐して居らるゝので、お母さんに同情して居るのは、獨り貴女のみではありますまい。知れる限りの人々は、皆なお母さんに同情し、尊敬をして居るではありませんか。して見るとお母さんも、報はれて居らるゝではありませんか。

善には確かに善の報ひ、惡には確かに惡の報ひのある以上、何にも神佛の存在を疑つたり、人間良心の判斷を疑つたりするには及ばないではありませんか。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同情と理解

ベン・ビ・リンドセー

氏は米國コロラアド、デンバー少年裁判所の判事である。

其の子供に對する義務を正當に理解する能はざる兩親にとりては、キット其の子供が將來大きな面倒の種となるであらう。而して其の子供に對する義務を正當に理解する第一歩は、子供に對し適當な理解と同情とをもつことに外ならぬのである。

人と人との間の最大の結び付は同情であつて、同情は理解の始まりである。父と息子、母と娘の間と雖も、其の間に同情のなき限り、何時までも他人として續くであらう。

他の如何なる方法によつてよりも、同情によつて澤山の仕事が出來る。

彼の動機を理解し、其の過失に對し、同情と忍耐あることを要す。

『正しき判斷のなき愛は、惑情であり、弱さである』との語あれど、其の正しき判斷と云ふものは忍耐と愛なくして出來るものでない。

○

『ソンナ惡いことをすると、お巡りさんに引張られるぞ』と嚇かすのはよくない。ソウ云ふ風に聞かせて居ると、子供は惡い事をしても、見付からぬ樣にすればよいのだと考へるに至る。之れは正しいことだから、せねばならぬと敎へねば駄目だ。

○

惡意は大體、親の不注意と無能から出來るものであつて、其の不注意な、無能な親は、貧民階級に限つたことではないのである。

或警官が曾て私に『六週間に萬引二十四人を捉へたがソレが何れも良家の少年少女であつた』と談つたことがある。私は又或紳士から『僕は多忙で、とても子供の伴侶にはなつて居れぬ』と聞かされたことがある。コウ云ふ人々は其の生涯の終りに於て、今少し事業の方から手をぬき、子供の敎育に骨を折つた方がよかつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た」と後悔することであらう。否彼等は事業に没頭して少しも子供を顧ざりし結果、切角集めし金は、其の死後、其の子供によつて濫費さるゝことを知りつゝ死ねばならぬであらう。

貧民階級から出る不良兒よりも、富裕階級の不良兒は、奢侈と怠惰の病毒を散布して社會に大害を與へる。

ラヂーム塗りの時計

ラヂームを含有せる塗料で、時計の針を塗つて置くと、夜間、他の光りを借らずに時間を知ることが出來る。それでラヂーム時計が流行しかけて來た。

米國に於て千九百十三年に製造されしラヂーム時計の數は二千個なりしが、昨年中には四百萬個製造され、其の內、一百萬個は輸出されたと云ふ。

ラヂームの應用は獨り、時計に對してばかりでなく、鍵穴の所に塗つて置いたり、或は室內の壁なり道具なりに塗つて置くものさへあるに至つて居ると云ふ。九呎に十呎の室をラヂームで塗る爲めには四百弗の費用を要し、それが十年はもつと云ふ。

又繪具にラヂームを入れて、繪を描くと、晝間は普通の繪なるも、暗夜に於ても明かに見へるから面白いと云ふ。若しも月夜の景色なぞを此の繪具で描けば、頗ぶる妙であると云ふ。

童謡に就て

中沖清子

「オヤ金の船の東京童謡會から例會のお通知が來て居る」私は今迄忘れて居たもの……少しの間でも……を急に思ひ出した時のやうに飛び上がりました。そして忘れて居たものを思ひ出したのと同じやうな感じが

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した時悲しうございました。自分の幾日か前からの忙しさを考へて……併し決して忘れて居たのでは御座いませんで僅かな暇も童謠を書く爲に筆を執つて居たのでした。未だ處女作許り澤山出來て童謠になつて居るのだか何だか分らないやうな幼稚なものですけれど童謠會へ行く事に因つて皆様のお話を伺ひお作を拜見してだん／＼理解出來るやうになれば自然に自分の作にも力がついて來るだらうと思はれます。

童謠會へは未だ一遍お伺ひしたばかりですけど、子供の心を相手に、その教育指導に衷心から盡して居られる方々の集ひは實に美しいものでした。私が受けた第一印象の快い感じは永久に消えないでせう。併しそれと共に婦人の方が殆んど見えなかつたのは殘念でした。

私のお友達はおつしやいました。

『兎角男の爲めに獨占勝なことは殘念です。女の方に子供を育てやうと言ふ方に是非童謠を理解して頂かねばなりません。子供は母に特に感化の大なるを信じます』と。

右のお言葉の通り童謠は母の理解に俟たなければならないだらうと存じます。母に謠はれて初めて子供の眞心に觸れ力強い反省を得られるのじやないでせうか。勿論子供中心の童謠は子供自身の謠つたものがより以上價値あるものを、より以上ほんとうのものを生むであらうとは多くの人に言はれます。併し種があつて芽が出ても伸してやるやうに導く耕作者がなければ、花も開かず實もならないでせう。耕作者即ち子供の母は教育の萬般に亘つて種を育て芽を伸してやらなければならない勞なのです。こんなことは今更私が申し上げなくても御承知のことでございます。

ならば『子として求むるのは理解ある母』です。その母になつて下さいませ。何卒立派な指導者となつて下さいませ。この願は子供でも私等でもまた青年でもそんなに變りはないでせう。それには研究が必要です。で廻らぬ筆でございます。けれど未だ婦人の方があまり研究されて居ない童謠のお話を少しづつ致しませう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その幾分かでも御參考になれば此の上の喜びはございません。

○

今迄私の前には童謠の世界との間に可成大きな扉が閉じられてあつたのでした。大分前でした。赤い鳥、金の船等……だつたと覺えて居ります。……で一寸其の扉の隙間からのぞいて其の妙味を捕へかけて離してしまつた切りです。恰度三四年前、そして其の扉は再び閉められたまゝ今日に至り、その後近寄つたことも稀でした。最早以後は自由に入れるやうになつたのです。私ばかりでなく凡ての方が……と申しますより今迄も入れないことはなかつたのですが單騎其處へ入つて行くことは少し弱い女性には實行し難かつたのでせう。もう何時迄そんなことを言つて言る時でも御座いません、時代は變化致しました、強い女性である筈です。皆樣が……成丈け多く……可愛い童謠の御研究を一日も早くお初め遊ばしますやう希つて止みません。併し未だ御存じない方の方が多うございませう。私はそういよ〳〵方々にお話申上げねばなりません。さあお聞き下さいませ。

隨分おしやべり致しました。いよ〳〵本文に入りますのですが今月はこゝ迄に致しておきませう。金の船、赤い鳥等で御覽遊ばしたかも知れませんが、童謠界大家のお作を拜借致しまして次に

もろこし畑（野口雨情先生）

お背戸の
親なし
はねつるべ

海山
千里に
風が吹く。

もろこし畑に
日がくれた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にはとり
さがしに
行かないか。
てんとう虫

草の一本ばし
青空たかい
たいこたたいて
てんとう虫渡れ。

春淺く

鷲尾よし子

無爲にゆく日を惜しみつつ家を守り子を守るひまに
春も來にけり。
世のつねの母のなすなる憂苦勞わりなくわれにもめ
ぐりて來しか
泣かまほしき皮肉と言はむ世のつねの女房となり苦
勞するなど
目ににじむ涙をじつとかみしめるわがかみしめる人
生の味
そのかみの罪をつぐなふ心して涙をじつとかみしむ
るかな。
われとわがいのちを抱き思ひみし大海の底にしづむ
たましひ
子を背負ひ春の日浴びてわがたてる影をみつめてゐ
る心かな
わがためにかかる苦勞やしたまひけむ今さら母に涙
流すも
子を思ふ心しみじみ 親思ふ春淺き夜のうす寒さか
な
頰にふるるみだれし髮も君故に子故に春の淺き朝か
な。

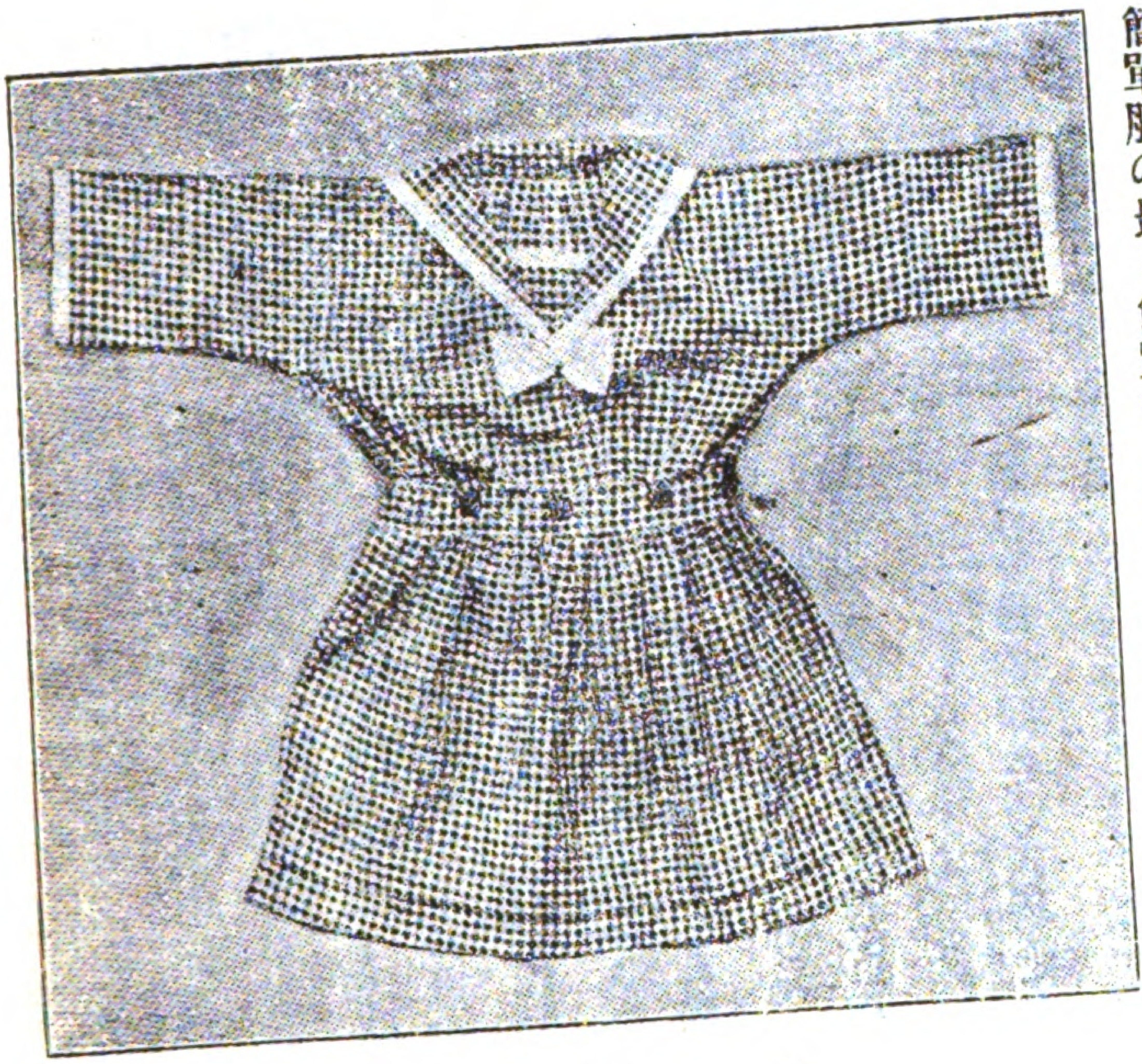
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小兒服裁ち方縫い方（四）

幸登子

五、通學用簡單服

簡單服の最も簡單なものをおめにかけます。十二三



第壹圖

才の生徒さん達に適當なものであります。

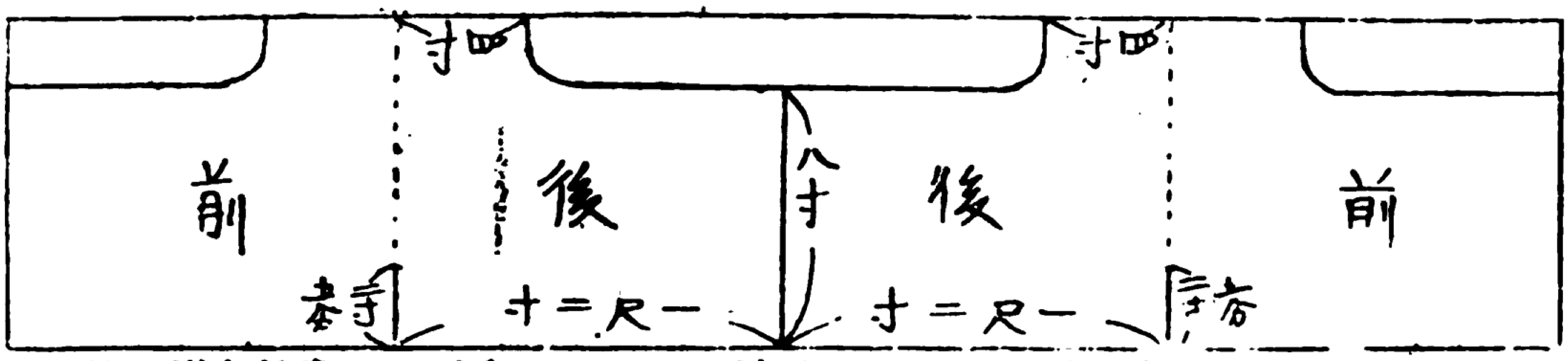
なみ巾一丈一尺三寸の布地を用意いたします。その巾から身頃として四尺八寸、スカートとして五尺二寸を取り、殘りの一尺三寸を襟や帶につかいます。

身頃の四尺八寸は二つに裁ち、それを重ねて二つに折りたたみ和服と同じ様に襟方二寸五分の鋏を入れます。次に兩脇をくつて袖を殘すのですが、そのくり方は第二圖を見て下さい。則ち袖口四寸胴巾八寸、それでは袖の丈がたりませんからとつて置いた一尺三寸の切れから四寸の巾八寸丈に二つ切り取り兩袖にたすのです。ついでに水兵型の襟ヨウクは巾八寸三分高さ五寸、胸當は三寸四方で下の方を心持ちスペイト型にとがらせます。

帶は胴わきからかきとつた細長い切れ四つはぎ合せ先づ一尺六寸を袴につく分とし、殘りをたてに二つに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

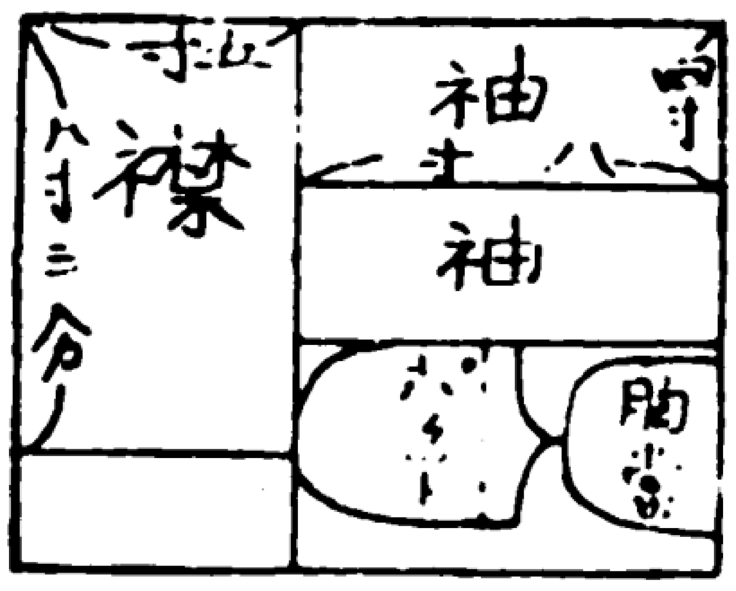
第二圖



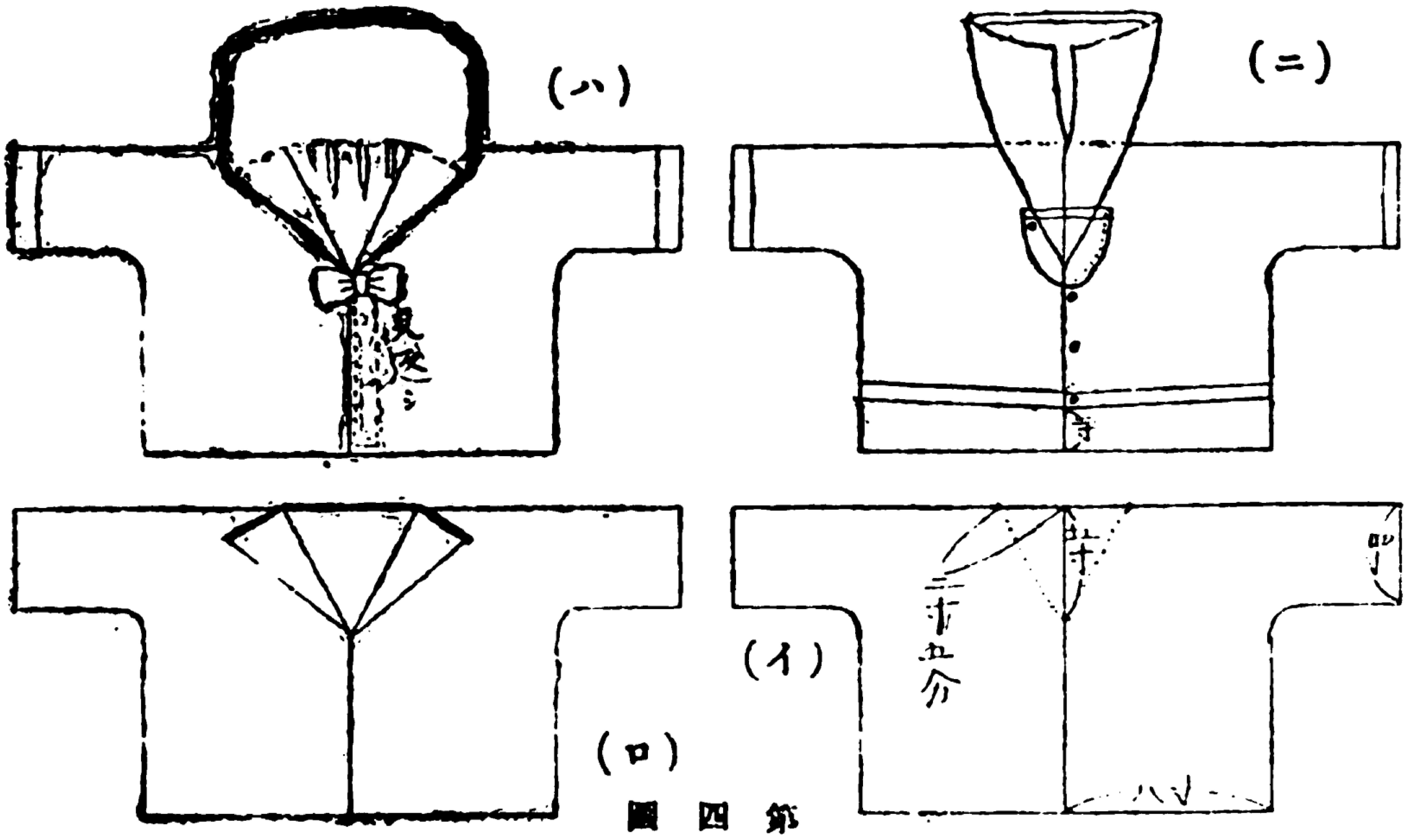
削いて上衣につく分とします。

縫い方は袖をはぎ足すところからはじめます。袖口にテップにてもレイスにても飾りをつけます。次ぎに胴わきから袖口まで通して縫います次に背筋をはぎます。

それからヨウクをつけるのですがこの説明少しむつかしい。第四圖を見て下さい。今イ圖の樣に出來て居りますからこれをロ圖の樣に前襟あきを左右に開きます。大い線で現したところが八寸になる樣に背筋縫目を中心にして襞を取りここに襟をつけます。ハ圖の樣。ハ圖の太線であらはしたところに袖口と同樣な飾をつけます。それがすんで前襟下左右に一寸巾の見返しをつけ胸當をつけます。見返の切れは襟の横にある殘りの部分を利用して下さい。縫いつける部分をニ圖に點線で示して置きました胸當には裏かつき上部にはやはり飾りテップ



第三圖



第四圖

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がつきます。

身頃のすそは三つ折りとし、五分巾の帶をつくり後に於てすそからの高さ二寸五分前に於て二寸となるように縫いつけます。この帶をつける前に胴まわりを二尺六寸になる樣にひだを取つて置きます。

二圖の黑點で示した部分にスナップをつけハ圖の如くリボンを左襟に飾り帶のまわりに七箇の釦をつけて上衣が出來上ります。

袴は用布を四つに裁ち横つなぎにはぎ合せます。右脇となるところは上部を四寸あけ上前の方に一寸巾の見返しをつけ下前の方に同じ巾の送り出しをつけますすそは三つ折りとし落付よくあげをとつて丈一尺一寸とします。上部はひだをとつて上衣の胴まわりを取り巻き得る長さとして一寸巾帶をつけます。帶は右わきでフックにて合せ下開きのところにスナップを二つつけます。この合せ目の前に當つてポケットをつけ帶には上衣の釦に合せて七つの穴を開けます。これにて全部仕上ります。

女子夜學機關を所望する動機に就いて

F T 女

前項に述べました女子夜學校の開設を切望する動機に就きまして、些か御話いたしたいと思ふのであります此頃とは違ひまして明治卅年頃迄は女子敎育と云ふ事に就いては、殆んど眼中に置ない位であつた事は、皆樣御承知の通りですが、殊に片田舍の娘と來ては實際慘めな位でした。何しろ父兄の頭は封建時代其儘でしたから、女子には御飯を焚く事と裁縫さへ敎へて嫁にやればそれでベストを盡したものの樣に思ひ、何んでもかでも嫁入するのは女子の生活する唯一の方法の樣に考へて居たものですから、其仕度に數百圓幾千圓と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

費やしても左迄とも思はず、又お祭りさわぎの着物やお盆踊の帶などを買ふ事には怠りませんが、僅々五十錢か七十錢で事濟む學校用品を求めるのが如何にも餘分なものゝ樣に思ふと云ふ樣な有樣でしたから、餘程先見のある人の外は大底義務教育丈けで、それも役場から催促される爲め仕方なしに出しますが、それ以上の教育は無益不用と考へどんな資産家の娘達でも高等小學を卒へれば、それで上々と思ひ、娘達各自もそれで滿足し、女子は只嫁ぎさへすればよいもの、それが身を處する唯一の目的である樣に思ひ思はれて居たものであります。それ故偶々勉學を好んで師範學校へでも入學する女子があると、女の子をあんなに學問さしてどうする積りだらう、格別技倆は惡いじやなし、傷者、片輪者でもないのに、先生に何かしなくもいゝではないか。却て生意氣になるから嫁に貰ひ手がなくなつて困るだらう云々と批評したものです。それ故女子の教育機關とては小學校の外に師範學校一つあつたのみで、而かも入學者は一二パーセント位でしたらうと思ひます。斯樣な氣風の滿々たる寒村に育ちました私が、水火の如く全く相容れない性質を持つて居ましたのです。他の娘達とは違つて學校へ行のが何よりの樂みとし、勉學するのが何より面白く思ひまして、大底の人はお祭禮やお盆には必ず休みますのに、私は曾て休んだ事はなく、どんな酷い荒の日も、雪が二尺斗りも積り道もないと云ふ日でも、休めと云はれますと悲しく感じた位でした。それ故小學校を卒たら是非々々師範學校へ入學して先生をして、一生を立てやう。嫁に行くと酷められるから決して行くまいと子供ながら固く決心をして居まして、何かの序手の時には何時も話して居ましたもんですから、皆から變り女だとか、馬鹿だとか、いろ々々云はれたものです。處が悲しい事には母も兄も御多分にもれず先見の明を欠き極々オールドタイプのヘッドストロングの人達でしたから、何と云つても幾何賴んでも其希望を容て呉れませんので、泣く々々師範に入學を思ひ止らせられました。そして型の如く臺所の手傳や裁縫の稽古をさせられ、學

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

校へ々々と毎日思ひ悶えながら、悠々として一日千金にも價する貴き勉學時代を斯くして空しく二三年を過しました。其時始めて女の夜學校があればと思つたのです。併し之も叶はぬ望みでした。仕方がないからルビ付きの本などを求めて日間々々に讀んで些か心を慰めて居ましたが、其内に結婚問題が迫つて來ましたのでいよ々々仕方がありませんから決心して母の手から飛出して、札幌の伯父の許へ行きましたのです。此の伯父は多少新らしい空氣に觸て居た人でしたから、私の志望に賛同して呉れまして、何でも好きな勉强をせよと云つて呉れましたので、初めてホット息をつきまして神様にでも巡り逢つた様な感じがしました。然しながら其時には最早年齢やその他いろ々々の事情の爲めに正規の學校で順當の學科を修める事が出來ませんでした。で仕方なく好まぬ學科ながら伯父に進められて有合の產婆學校へ入りましたが、何しろ居候の身で通學するのですから此時もしみ々々女子夜學機關があつて欲しいと思ひましたのでした。尙其後英語を志しましたが、札幌では駄目ですから、正則の夜學部に入學しやうと思ひ上京いたしました處、豈に計らんやです。女子の入學は許可しないと云ふのでがつかりしました。親類もなければ知人も何にもない田舍の娘に取つては全く外國の様な東京へ、女の身そらで單獨で上京して、而かも其目的がすつかり外づれたのですから其時の私の感慨は實に筆紙に盡されません。此時は最も痛切に女子夜學校の必要と云ふ事を感じたのです。東京にさへないのですもの、地方にある筈がないのです。此時も矢張仕方がないから進めらるゝ儘に間に合せ的に裁縫女學校の高等科に入學して、洋服始め支那服朝鮮服等を習得し、夜は私立秋元英學塾へ通ひまして志望の幾分を滿たす様にしたのでした。其當時つく々々思ひました。私が社會へ出てどうにか出來る様に成つた曉には、是非女子の夜學機關を開いて、正規の學校へ行けない人達の爲めに、勉學上の便宜を與へ度いと、然しながら、悲しい事には種々事情の爲め未だに其希望の一端にも達する事の出來ないのは返す々々も

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遺憾千萬に思ふて居る次第であります。今でこそ正則でも女子の入學を許るして居ますが、二三年前迄は許可しなかつたのです。

斯樣な次第で私の幸拙き爲めに其事々其時々に於て其希望を皆裏切られました爲め、とう〳〵初心を貫く事が出來ませんでした。若し事情が今少し希望に副ふて呉れましたらモー少しは人間らしい者に成つて居たらうと思ふのであります。然し低級ながら專科を二三習得しましたのは偏へに伯父と私の勉學に對する熱心との賜であると思つて居る次第であります。今でも札幌時代や上京當時の事を思ひますと、自分ながらよくあんなに出來たものだと夢の樣な感がします。北海道の寒氣と云つたら鬼でもひどいのです。それでも智識欲にもやされて居た私は雨風雪はものゝ數かはで、如何に荒れる日も喜々として晝は專科の方へ通ひ、夜は或先生の處へ女學校用の書類一式を習ふべく毎夜々々雪が二三尺も積つて居ても、北一條通りから南三條西五丁目迄テク〳〵通ひました。道が氷つて仕樣のない時には足袋はだしで塩の樣な雪の中を歩るいて行きました。斯樣に偏則な道程で普通學を習得したのですから何かに付けて女子の夜學校があれば々々と痛切に感じたのです。

可愛子供との別れ

尼子松代

「母ちゃんどこへ行くの、母ちゃんがゐなくなると、百合ちゃんはつまらないわ。前の美ちゃんも、おばさんが、ゐらつしやらなくなると淋しくつて、母ちゃんもうどこへも行かないでね」これは今年三年生のあの可愛い天使の樣な、ひとみをした、我が子ながら、ほんとにいぢらしひ女の子、戸山ケ原から早稻田に出る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

片側の道すがら、今將に別れんとする母に云つた言葉でした。
「百合ちやん、百合ちやん母ちやんがゐないうち、父樣のおつしやる事や、おばあさんのおいひつけをよくまもつてね……」
「百合ちやんが女學校に行く樣になつたら母ちやんの事もよくわかる樣になるの……」
こんな物語りをするのも、此れが此世の見おさめになるかも知れない。ああ別れともない。わたしはどうして、こんな悲しい運命におかれたのか知らん。
「母ちやん今からどこ行くの、こんどはどこの先生に行くの、いつかへるの……」
とたづねられた時に、どうこたへたらよからふか、子供にこの苦痛を知らせたくない。この可愛いのびく〳〵とした純な心にきづをつけたくない。子供に淋しみをもたせたくない。
「百合ちやんは母ちやんが、どこ行くつて、氣がつかないの、母ちやんは今から、四年間學校の生徒さんになるの」子供はさも、不審さうに
「ほんと、母ちやんが生徒になるつて、おかしいは、あわかつた。一年は幼稚園で、二年は小學校で、三年は女學校、四年は大學ね」
子供は無邪氣に笑ひながら、こう申しますので、あゝよかつた。
此のせつない胸をくんでくれる程な大人じみない、子供を、わたしは何んといふむごたらしい女かしらん…
神樣これが御旨で御座いましよう？……
神樣このなやみの時にあなたの御かほを拜させて下さい。あなたのそのきよい耳を、われにかたぶけて我れよぶ日にすみやかにこれに答へて下さいませ。
と念じ
「百合ちやんも學校で、一生懸命におやりよ。母ちやんも、百合ちやんにまけない樣に一生懸命にして、よい人になつて會ひましよう」
子供はわたしの學校生徒といふのに興味をもつて、おをはづみで

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京女子醫學專門學校長
東京至誠病院長
吉岡彌生氏著
「製本既成」

私の實驗したる 安産と育兒

□四六判上製三百頁・定價貳圓五拾錢・郵送料十二錢□

本書は現代の醫學に根柢を置て、著者か多年の實驗と智識を記述したものであります。これまで刊行された、出產と育兒に關する書物のなかには、專門や理論に傾ゐたものがあつて、普通の人に解し難いことが多いやうでありましたが、本書は家庭の切なる要求に對し御滿足をお與へしたいと思て編纂いたしました。ゆへに專門にも傾かす、理論にも流れず、獨斷にも失せず、杜撰にも陷らないことを確信いたしております。母たる人、母たらんとする人々に是非この書物をお薦めいたしたく存じます。

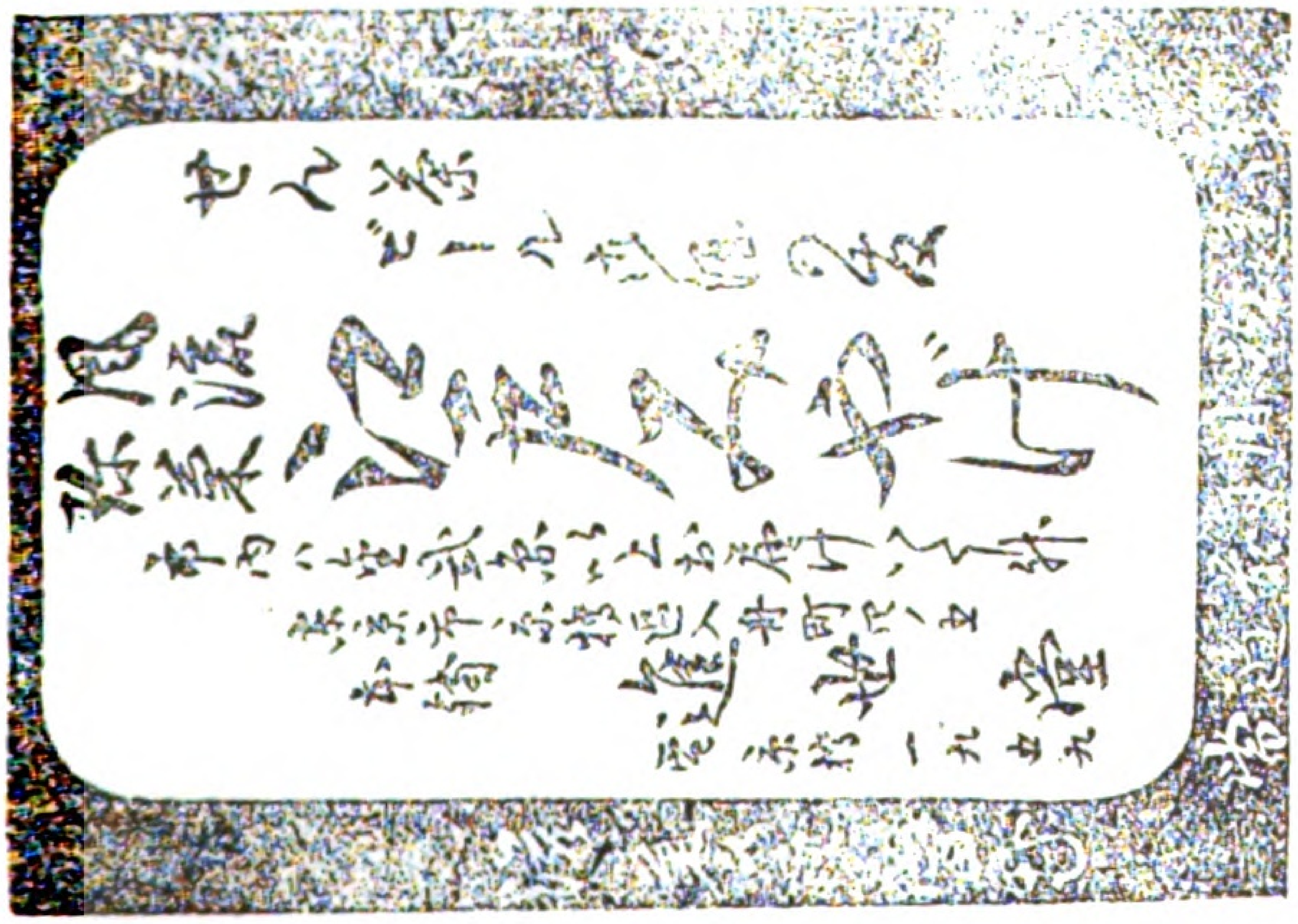
發行所
東京市麹町三丁目
振替東京七八四七
丁未出版社

皮膚科
泌尿器科 腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺の疾患
生殖器科 男女生殖機能障害
婦人科
梅毒科
特設ジアテルミー科

日本橋區通二丁目
白木屋出口前
中島醫院
電本局三九八〇番
院長 ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎

産婦人科 小兒科
院長 吉岡彌生
副院長 吉岡房子
診察 毎日 宅診午前 往診午後
産室及病室の設備あり
隨意入院の需めに應ず
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話九段（三三三一番）（三三三〇番）

・自午前九時至三時迄縱覽隨意・
生徒募集 和洋服裁縫及刺繡ミシン專修
（規則進呈）
シンガー裁縫院
麴町區有樂町一ノ五
電話本局 四三一一 五二六九



岡埜榮泉
旅行は上野のステーションから
お菓子は岡埜の榮泉から
お土産にも
御茶菓子にも
電話下谷一九五二番
下谷區（岡埜）上野驛前

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

府下田端

東京腦病院

院長 醫學士 後藤城四郎

顧問 後藤省吾

電話小石川一一二番

電話京橋 五三四、

登録商標

東京市京橋區銀座三
松沢製

賣捌ハ全國諸々小間物店

振替口座 東京七二四

●洗濯石鹸の騰貴驚くに足らず
太陽コナ石鹸半額販賣

壹圓なれば 貳圓分
五拾錢なれば 壹圓分
廿五錢なれば 五拾錢分

正味
袋入として

神田小川町 天下堂

青山北町三ノ六 株式會社 柳屋商會
電 芝二八八四番
振替東京五二七四

四ッ谷尾張町三番地
四ッ谷見附前横丁 柳屋支店

僞物あり太陽印コナ石鹸に御注意を乞ふ

三階 二階 下階
大陳列場

御婚禮道具一式調製

東京市京橋區金六町角

鷺塚高等簞笥店

電話京橋 五百七十一番
三千四百五十五番
振替東京 一九三七〇番

商品目錄送呈

第一工場
深川區入船町六番地
電話本所五百二十六番

株式會社

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目
電話京橋 八一五、八一六、長三一七四
振替口座東京三八〇〇〇

支店
飯倉三丁目 牛込神樂坂 南品川一丁目
赤坂表町 淺草花川戶 橫濱戶部
四谷大通り 神田須田町 大阪九條通
本郷一丁目 兩國元柳町

株式會社

臺灣銀行

(臺北)

支店出張所

臺灣
基隆 臺中 嘉義 臺南
打狗 宜蘭 淡水 桃園
新竹 南投 阿緱 臺東
花蓮港 澎湖島

內地
東京 橫濱 大阪 神戶
門司

支店出張所

支那
上海 九江 漢口 福州
厦門 汕頭 香港 廣東

南洋
新嘉坡 スラーバヤ スマラン
バタビヤ

歐米
孟買 盤谷 倫敦 紐育

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自宅獨習

共立女子職業學校教師
數氏及び大家博士執筆

裁縫書は多いが說明のない裁方を並べた位で縫方は殆んど敎へてないから、到底自修用にはならぬ。本會は之を遺憾とし特別の通信敎授を案出して、學校にて敎授すると同樣詳細丁寧に說明し、自宅に居乍ら高等な裁縫學校に通學同等の學力を充分に授く（卒業一ヶ年）

和洋裁縫講義錄

月謝僅に三十五錢
三ヶ月　一圓
一年　三圓六十錢
毎號百六十頁美本

生徒募集

□和服裁縫科
□洋服裁縫科
小物及細工物科
□袋物科
■國民道德　■教育
■裁縫教授法　■色洗

どなたにも充分解るやう平易に高等裁縫まで敎授す
一日おくるれば一日の損
勉强するのにまよふは愚
僅少の月謝一年の修業で
東京遊學と同樣の力を得

入學の好機！
■小學丈で通學出來ぬ人
■各種女學生の參考書
■特に檢定試驗受驗者
□裁縫教員の好師友敎材
卒業證書を授與

內容見本附規則書　郵券二錢送れ

東京神田今川小路
日本裁縫敎育會
電話本局 六四 二三〇 四五 番
振替東京三三〇七六番

院長 ドクトル メヂチーネ 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
同 齋藤茂吉
電話 芝 二六六五 二六七四
特長 二七四五
腦神經精神病
腦神經衰弱
リンゲル氏注射日 月水
東京市赤坂區青山南町
青山腦病院

▽蜜蜂の飼方 北原先生著 金七十四錢
▽兎の飼ひ方 河南學士著 金六十二錢
▽鶉飼の秘訣 白松先生著 金六十二錢
養鶏實地大家 松澤淳水先生著
好評第七版 金五十錢 送料二錢
▽草花培養法 原田學士著 一圓六十錢
▽花壇草研究 石垣先生著 金八十六錢
▽盆栽の培養 小川先生著 金五十四錢
東京橋區傳馬町二丁目十三番 有隣堂 振替東京六九六番 貯金口座

腦病精神病 専門
東京市巣鴨町四丁目巣鴨電車終點角二丁
巣鴨腦病院
（電話小石川一六六八）
院長 醫學博士 石川貞吉
入院隨意

産科婦人科 篠田病院（入院隨意）
本郷區丸山新町
女醫 篠田せい子
電話小石川二一一九

リウマチ
難病にてあらゆる療法効なくお困りの方は郵券参銭封入申込まれよ不思議に治る神秘薬を御知らせ致し升
東京市淺草觀音仲見世局一の三 井筒屋油店
電話淺草三一一五番 振替東京一九六五二番

産科婦人科 小兒科 （宅診午前 往診午後）
東京市四谷區番衆町三十一
井出醫院
電話番町三六七七番
女醫 井出政メ 竹内花代

腦病精神病専門
南葛飾郡龜戸、龜戸一一二〇
加命堂腦病院
電話本所二五五二番
院長 奈良林淺次郎

[illegible]

子宮病血の道

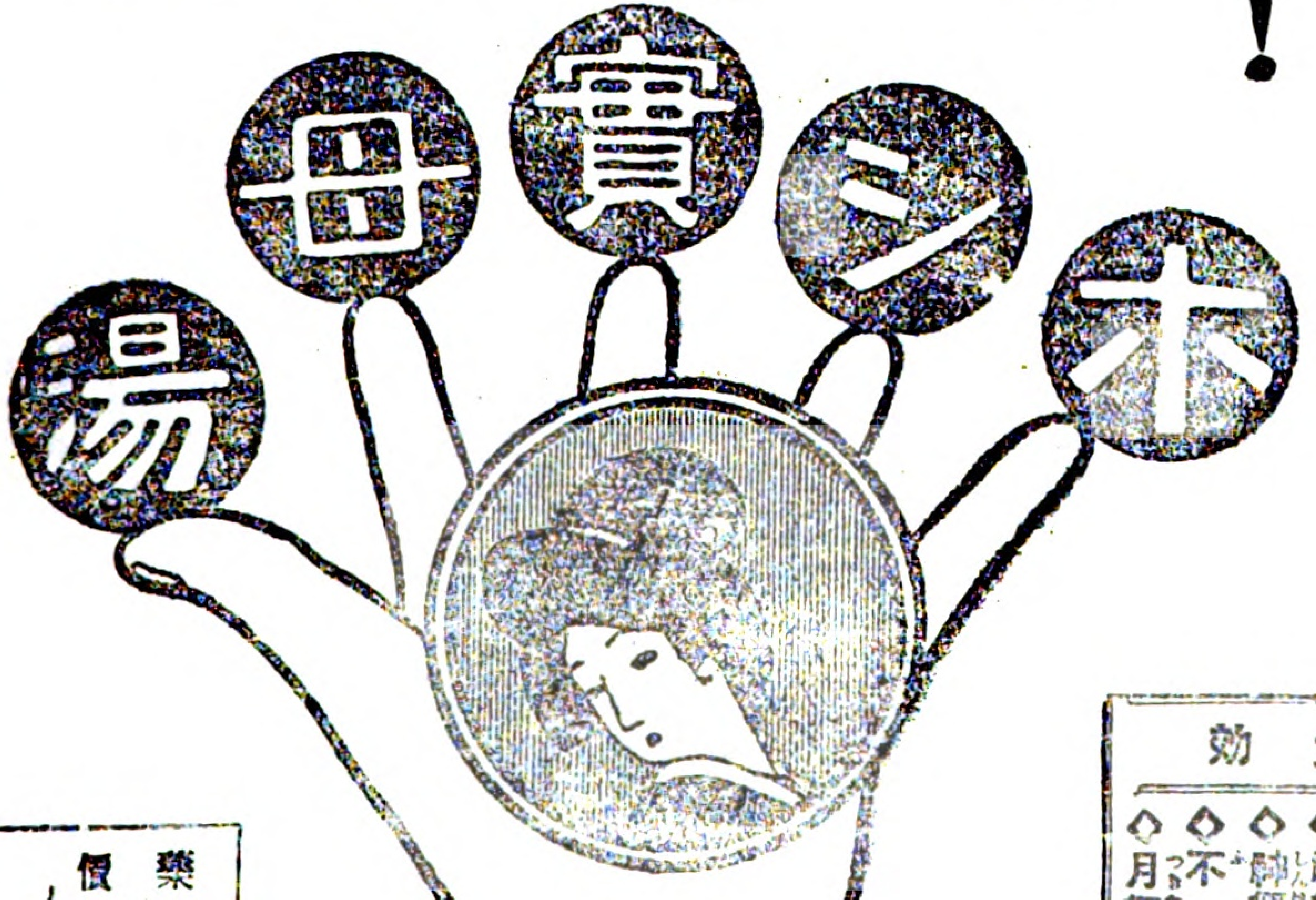
全く理想的！

錠劑の婦人藥

お湯に良く溶け

キ、メ振出しに優る

從來の煎じ藥や振り出しの婦人藥は使用の際に非常な手數が掛りました。殊に一度用ひたものを、保存つて置いて二度三度用うるのですから、其都度成分が違ひ、自然效驗の差が出來るのみならず、塵埃などが這いつて衞生上にも勿論よくありません。本品は本社の工場に於て多くの醫學者が研究の結果發見した理想的婦人藥で、從來の婦人藥の手數や缺點を根本的に改良したものです。其品質はあらゆる婦人藥の有效なる主成分を集め、新たに二三の新藥劑を加へて之を錠劑にしたもので、用ひ方はこれを二三錠茶碗に入れ熱湯を注ぎ込む、忽ち溶解してよい香を放ち其效能は婦人藥の主成分のみを集めたものですから從來の煎藥より遙に卓越して居ります。



主効

◇ヒステリー ◇子宮病
◇神經衰弱 ◇白帶下
◇神經過敏 ◇膣カタル
◇不眠症 ◇頭痛冷性
◇月經不順 ◇貧血病等

藥價

四日分	卅錢
八日分	五十錢
廿日分	壹圓
德用	貳圓

各地特約藥店にあり

東京京橋南傳馬町三丁目

星製藥株式會社

電話京橋一七八五 振替東京二〇五二二

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『母ちやん、百合ちやんが女學校に行く樣になつたら御褒美を頂戴ね』

子供に知れない樣に、そつと涙を拭ひ百合ちやん許しておくれよ……

この何にも知らないものに、涙一滴見せたくない。

『きつと〳〵手紙をよこして、その時はたんと御褒美をさしあげましよう』

『あのね、父ちやんがね百合ちやんがお嫁さんに行つたら、母ちやんにあへるつて、わたし早くお嫁さんに行くの』

子供には母ちやんが、ゐなくなる事はどんなに淋しいかなしい事なのでしよう。

別れた後はいつ會へるか、わからない氣もするらしい。お嫁さんに早く行きたいと、いふところに、どんな心であるかをよく、あらわしてゐる。なんといふ、いぢらしい事をいふ。

『ホ……そんなに早く、お嫁さんに行くとおかしいわ』

『それから早く母ちやんに會ひに行くつたら、父さんが母ちやんの頭が出來て心の人になれたら、いつでも會へるつて、あとでそう言つたの』子供は何んのわけも知らないで、こうして、お見送りすると、美ちやんと二人連れで諏訪の森まで來ながら、

『母ちやん卒業したら手紙を頂戴ね、百合ちやんがお迎ひに行くから、きつと〳〵ね』

子供は急に何にか考へたらしく

『さあいびきりかんきりしてよ、早く歸へらないと、お祖母さんに叱かられるから』

ああいつまで連れて來てもはてしがない。それかとて別れたくもないし

『さあ百合ちやん、大きなかんきりをしましよう』とひしと抱いて『さあこれでお別れでおわかれにしましよう、けがをする樣なところへ行かない樣に、氣を付けて大切にお父さんや、お祖母さんや、お隣りのおばさんにおよろしくね、さようなら』

『さようなら』子供の後姿を見送りながら、人陰のないのを幸と今までの元氣はどこへやら、打ちたほれん

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ばかりに、涙はとめどもなく流れ出でる。それを止むる勇氣もない。ああ今一度會ひたいとこえのあらん限り呼び返し、かねて求めた貝細工の帶さげを取り出して待つてゐると、子供はいそいで、またはしりかへし

『母ちやんはまだここにゐたの』

『切角百合ちやんにと買つて來たこれをあげましようなくしないでね』

『あうれしひ』

『美ちやんにはすまなかつた。あとで送つて差上げましようね、御免なさいよ』

『百合ちやん母ちやんがいつた事わすれないでね、よくわかつて』

『はいわすれません』

やう／＼の事でわかれ／＼、子供の後姿を一目も見おとすまいとみつめた。目の前の姿はもうかげだに見えなくなりました。

かねてまたせて、おいた、向ふの車の人となつて、思ひは同じところと、身體は遠く離れゆく。そのうらめしさ。車上

神樣どうか子供の上に祝福をお與へ下さいませ。どうか人世を直ぐ歩みあなたの御旨のかなふ人間にしてやつて下さいませ。

神樣どうか御旨ならば、再會をおゆるし下さいませわたしの生涯を、あなたわみそなわせられまして、少しなりとも神と人にいくぶんでもつくされる人間にして下さいませ。と祈りつゝ、今はこの聖い宿舍の一隅の室に、朝な夕な子供の祝福を祈りほんとに神に捧げた身も靈も聖く送らしていたゞいております。

禁酒デー

三月十三日の日曜日に、大日本國民禁酒會で全國禁酒會聯合の大禁酒宣傳をしました。婦人社會問題研究會でも、二月十一日の紀元節の宣傳が雨の爲めに出來なかつたので、御手傳をして上野公園を受持つて、五萬の宣傳紙を配布しました。當日碧川かた子、高木富代子、早川幸枝子、中沖濟子、森山約子、野田千代子、桐山まつ子、中村順子、高須かく子、中澤姉妹、西川文外二人、と小供四人と禁酒會本部の天野濟子、松崎ひろの、氏と、女醫會の杉田鶴子、前田兩女史の應援とで大變に成功しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女達に

唐澤純正

○斯う云ふ性格の人がある――殊に女に多いが夫れは其人の心の奥が全然わからないさ云ふ――。それも底が深くて判らないのではなくて底が無いから。

○嫉妬は阿諛の最も純な形だ。

○讒誣誹謗は名譽が勳功に課した租税だ。

○あなたを褒める事の出來ない人間と、褒めて呉れない人間とは共に信頼するに足りない。

○社會さ云ふ奴は丁度お世辭上手な宿屋のおかみさんの樣なものだ。誰にでも歡待してお世辭を振りまく代りに其相手が見えなくなるさ直ぐそんな人の居た事すら全然忘れてしまふ人の噂も七十五日だ。

○子供の時には惡魔は吾々の前方に居た。大人になるさそれが吾々の側を並んで歩いて居るそして老年になると惡魔は吾々の後方からついて來る。

○如何に多くの人は學ぶ爲めに生きるか。又如何に少數の人のみが生きて行く爲めに學ぶか。

○普通の生活に於ては、成功と云ふものは積極的要素よりも消極的要素の方が遙かに與つて力がある。

○利口な女は決して自分の暗黒面を見せないで常に彼女の光明面のみを見せて居る――丁度地球に對するお月樣のやうに。

○男子にあつては虚榮は贅澤品――不必要だけれ共女子には此上もない必要品だ。

○男子が婦人の樣に利他的でなかつたなら、婦人忽ちにして男子よりもつと利己的になるに相違ない。

○此頃では人間の價値を計るには、道徳的尺度を以てするよりも智的尺度でする方が遙かに樂になつて來た。

○大膽な人間「無」はほんの些細な事だけれ共、小心な奴には非常に重大な事件である。

○婦人は常に守勢的防禦的である。

○こゝに池と鴨さがある。古人はその關係を説明して曰く『池は鴨あるが爲めに作られたのだ』と。然るに現代人は『鴨は池あるが故に出來たのだ』と云ふ。けれ共それは間違つて居る池と鴨とは獨在するので此間何等交渉はないこれが『チオデシイ』の説明だ。

○君を矢鱈に保證して呉れる人を信ずるな。何となれば彼は君を信ずるが如く何事をも直ちに信ずるからな。

○婦人さ云ふものは、たとひ自説が他から論駁され、言ひ籠められた場合にも、決して相手の説に心服しては居ない。よし自説が間違つて居ても。

○婦人のなした失敗は男子に對し非常な魅力を與へるが、男子がやつた場合には婦人に何等の效果を與へない。

○多くの婦人は尊敬さるべき性質のものでなくて寧ろ嘆美さるべきものだ。

○女にあつては憐憫は戀愛を産み、男にあつては戀愛は憐憫と化する。

○老人に理由を問ふ勿れ、青年に結果を求むる勿れ。

○彼の背後に婦人あるを知らば、事業にせよ娛樂にせよ決して決して彼を信頼してはならぬ

○孤獨は自我の保姆なり。

○婦人さ婦人とは街上ですれちがつた瞬間にも相手の頭の先から足の爪先迄其包裝の善惡と缺點とを必ず發見する。男子には相手の婦人の半襟の模樣一つすら頭に殘らぬが顏の良し惡し丈は見逃さない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その俤

東大寺太代

美穂は一息に駈け上るつもりで、カーブした段々を二十ばかり昇つたが、浴後の疲勞と一時懸倒しかけた心の動搖とに、體軀がすつかり氣倦くなつて、坂の途中からもう脚が持ち上らなくなつた。と同時に頭の心がづきんづきん疼き出した。

崖に臨んだ西日に晒された丘の家には、白地の胸の邊を血で汚した純一がたつた一人居た。幾本かの薪と光つた鉈とが土の上に投出されてあつた。刄物の持つ殘忍な色彩が、四邊を一層荒涼たるものにして、ぬら〱した蛇の目を想はせた。七月の重苦しい空の下に、血を吸つた鉈が、熱い息を吹いてゐる。そこの赭土までが、小さい彼の血液を多量に吸つたかと念ふと何かそこにも意思でもあるかの様で、踏む事すら怖ちられた。

眞白い純の顔が、海へ落ちてゆく陽をうけて、薄茫やり何の感じも有たないといふ風に痛む肱を他人の物の様に抱へて居た。

それ位の光景は心に描き、十分緊張して喘ぎ上つたのではあるが、三十幾段目かの最後の土へ踵をかけた瞬間、彼女は危く踏外して脊後へのめりそうに思つた然し其刹那みほは心を取直した、美穂は其時自分自身をも踏越して恐れも何も忘れて、純の傍へ驅け寄つた。

『おゝ純や、母さんがね……惡かつた惡かつた。あゝ私は私は』

美穂は自分にも何を言つてるか知らなかつた。純一の側へべつたり座ると頽然首垂れた眼と眼とが合はされないやうに、長い時間、――と美穂は思はつたが實際は二三分に過ぎない――そうしてゐた。この場合動く事や物言ふ事は怖ろしい事の様に念はれた。

『惡かつた惡かつた、私が心に間隙を生へたから』美

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

穂はたゞそう繰り返すのみだつた。
「さ、早く病院へいかう、ね病院へいつとくれな、ね純や」
そつと立上つて椽へ出た。濡椽の所々にも夥しい血の滴りがあつた。藍色の手拭には黒く、白手拭には生々と血が染んでゐた。
「私が惡い、惡い」と、美穂は堪らなくなつて咽んだ。純の指の一本が、そこいらに落ちてゞもゐるかの樣でもう家には居堪らなかつた。
「下の路を通りかかつた、醫學生らしい人が來てやつて與れたんだよ」突然純一がそう瞭乎いふのであつた。そう言はれて純を正視した。すると、新しい繃帶をくる〲卷いた其端を首へ釣るしてゐた。美穂は始めて先刻内儀さんから告げられた事を想ひ出した。
「まあよかつたね」どきまぎし乍らそう云ふと、少しは硬ばつてゐた軀が幾分樂になつた。
「何にしても早く病院へ行きませうよ、それで何かへ……」

美穂は此時程自分を憎らしく、それと同時に可哀想に感じた事はなかつた。若しかして……指が無くなつてでもゐたらと、其指が落ちづにあるかどうかを、訊く事すら宥されない自分は罪人だと情けなかつた。此麼脾弱い者に、あの重量なる鉈——鉈といふ言葉はもう〱再び口に上せたくなかつた——鉈を持たせて、其肉と骨とを打摧かせた、夫れは全く容す事のできぬ惡魔の所爲、憎惡すべき、戰慄すべき想念、極惡な殘虐な、智慧も愛もない死の破片の樣な女!! あゝ恐ろしいまでに無智な女よ!
美穂は病院にゆき着くまでに、切ては自分の冷酷が惹起したこの愚な、大なる災厄、それは或は純を片輪にした事かもしれぬ。自分の不注意を十分詫びやう。土に額をすりつけて謝罪らねばならないと念つた。
そこは、一體の高原で、遙に碧い海や浪が白く光つて見える畑地であつた。玉蜀黍だの胡麻だの茄や爪類が青々した蔓の手を伸してゐた。純の胸の邊まである里芋畑へ來た。幸ひ四邊に人氣が無かつた。美穂は今ぞ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と思惟つてつとより添つた。『どうぞ母さんを宥しておく呉れ』そういふ筈だつたのに、依然物が言ひ難かつた。蒼白に近い凸凹道が、怪我をした純一の爲に氣遣はしくてならなかつた。母子は默々として、この高原の一隅に聳え立つC病院の尖塔を目ざしていつた。と突如純一が『母さん』と呼んだ。

『……』みほは今が今、純に詫びやう詫びやうと、其言葉の練習を心でさらへてゐたので、すつかり周章て頓に返辭ができなかつた。泫然哀願する様な眼眸を彼へむけた。母の態度が餘りに異常だつたので、純一も言葉をぼきりと斷つた。

『痛むのかい』

『いゝえ』

『そりやまあ有り難いわ』

痛まないといふ事は、何よりも歡ばしい。そして彼の寛容、彼の美しい性質の表現れでもあるかの樣に、みほはたゞ〳〵救はれたものゝ樣に喜んだ。少時は指とも鉈とも想はずに、それでも何となく落着かぬ氣分で歩いてゐた。軈て病院の石門へ來た。中から來る俥を避ける爲に、みほが二三歩遅れた時、何處からかひよつくり出て來た角帽の靑年が、脊を曲げて純一を覗き込んだやうであつた。脊のひよろ長い、多少脊骨の彎曲してゐるらしい其靑年は、一寸帽子へ手をかけて行き過ぎた。『あの方ですよ母さん、先刻來て來れた人は、今迄外科へいつて待つてたんだそれで急に用事が出來たからつてんです。僕等も些と早く來るんだつたな』

純一は良嘆聲を發して、夕闇に消え去つた親切な靑年のゆくへを心で追つた。

『そうかい』

美穗もまた、姓名さへ知らぬ其靑年の温いそうした爲方に涙ぐんだ。

* * * * * * *

其後三週間餘りも病院へ通つたが、終に其人には會へなかつた。『急に郷里へでも歸られたものか』とも念ひ、九月になつて學生達の登校する時間を圖つて、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美穂は幾度かそこの門側に佇んでもみたが、或は會つてもお互に不識に過ぎたか、とう／＼判らずに了つた。

「ね純ちやん、あなたあの方をよく覺えてるでせうか」

「あゝ」

「あれつきり會はないかい」

「會はないよ」

美穂は憶ひ出す事すら能きぬ其風丰を偲びわびつゝ充たされぬうら寂しさをぢつと堪へる樣に、凍んだ手を擦すた。

（三月三日夜）

沙翁傑作 ロミオとジユリエット

西川 文

主要人物　分り易い爲に極主要な人物丈けに省略しました

キヤピユレツト モンタギユー	確執せる二名族
エスカラス	エローナ領主
ロミオ	モンタギユーの息
マアキユシオ	ロミオノ友、領主の親族
ペンゴリオ	ロミオの友、モンタギユーの甥
チツパルト	キヤピユレツトの妻の甥 ジユリエツトの從兄
ローレンス法師	フローレンス派の僧
ジユリエツト	キヤピユレツトの女
パリス	領主の親族、年若き貴公子

伊太利のヴエローナ市にキヤピレツト家とモンタギユー家と云ふ二名族があつた。昔仲が惡かつたのが、やゝ納まつてゐたのを、或日下人どもが爭ひ出したのを手始めに、だん／＼上の方に移つて兩家の長者まで市に出て劍を拔き合ふに至つた。

そこで領主エスカラスが出られて、兩家の爭の爲めに再三市を騷がすのは不屆だ。もし此上平和を亂す樣であれば、兩方とも命はないぞと云ふ嚴命があつた。

其モンタギユー家の子息にロミオと云ふ貴公子があつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。モンタギュー夫人は此騒動の中にロミオの居らなかつたのは幸だつた。ロミオはどこにと甥のベンオリオに聞きました。ロミオは人目をさけて郊外の杜の繁みへお隠れになつたと云ふ。モンタギュー長者もロミオの此頃毎日涙の露にぬれて、吐息の雲に覆はれてゐるのを氣づかつて、甥のベンゴリオに其仔細を質問してくれと頼んだ。

ベンゴリオがロミオにいろ〳〵と尋ねて其の失戀である事をつきとめ、それを忘れる爲めには、目に自由を與へて餘所の美人を見るがよいとすゝめるのですが、ロミオはそれは忘れる法ではなうて、拔群な美をも拔く拔群な美人を思ひ出さす備忘帳に過ぎぬと云ふ。

ベンゴリオそこが火で火を壓へ、苦で苦を減ずる例ちや、目が眩うたのを癒すには逆に廻轉するに限ると慰めるのです。

そこへキャピユレット家の下人どもが今宵同家の宴會に招待しやうと云ふ、貴顯紳士淑女の名前を書いた書付をもつて來て、ロミオとベンゴリオに讀んでくれと云ふ。

其書付にはロミオが戀ひ慕つてゐるロザリンも招く樣に書いてあるので、幸此宴會に行つて、ロザリンと他の美人達とを見比べるがいゝとロミオをつれて行くのです。

でそれから、領主の親族でロミオの友人であるマアキユシオとモンタギユーの甥にしてやはりロミオの友人であるこのベンゴリオ始め數人して廻國巡禮に假裝して行く事とする。

ロミオは炬火をもちベンゴリオは太鼓をたゝき、さあ舞踏つたり舞踏つたりと騒いで行くと、キャピレット長者も此一行を歡迎しました。キャピレット家にはジユリエットと云ふ美くしいまだ若い十四のほんの蕾の花がありました。けれども當時のヴェローナ市にはもつと若くて母になつて居る姫もあるとの事です。其花の樣な又明星の樣にかゞやかしい姫が一武士と舞踏してゐるのを、失戀の悩みに悶え苦しんだ上句のロミオは一人離れて見入りました。そして、ロミオは今夜

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云ふ今夜までは眞の美人を見なんだ。あゝあの姫の美麗さで耀く燭火が又一段と輝く、あゝ、あの姫が他の女共に立ち交つてゐるのは、雪はづかしい白鳩が鴉の群れに降りたやうだと嘆息してゐるのを、キャピレット長者の甥にしてジユリエットの從兄であるチッバルドが聞きとがめて、彼奴はモンタギユーのロミオではないか、敵のモンタギユーが今夜の祝典を辱しめやう爲めに來たのだ。許されぬといきまくのですが、キャピレット長者は年若のロミオではないか、まゝ堪忍して放任つておき召され、立派な紳士らしう立振舞つてゐる上に、日頃ヴエローナ市で德もあり行狀もよい若者と自慢の種にしてゐるロミオぢや、我家で危害を加へてはならぬと云つて、いかな事にも承知しないチッバルトをなだめすかして事勿らしめたのですが、チッバルトは如何にもむか／＼して腹の虫が承知しないで、今宵こそ甘たるう見えてゐるが、やがて苦き味を見せてくらうと云つてゐます。

其の間にいつしかロミオはジユリエットに近づき、親しく握手し、接吻し、睦言を喃々してゐると母の使に乳母が來てジユリエットをつれて行かれる。ロミオあの方の母御と云ふのはと聞いて、始めてジユリエットのキャピレット家の姫なるを知つて、あゝ怖ろしい勘定狂せ、予の命はこりや敵からの借物ぢやと嘆くのです。

ジユリエットも賓客のそろ／＼歸りかけたのを見送りながら、乳母を呼んで一々賓客の名をきくのです。實はロミオの名を聞き知りたいばかりに、乳母がロミオを存じませんと云ふので、さ問ふておじや、もう婚禮の濟んでぢやなら墓が妾の新床ぢや。

乳母から、あれはロミオと云ふて、お邸とは敵どうしのモンタギユー家の若ぢやと聞くと、ジユリエットも『類ない戀が類ない憎怨から生らうとは、知らいで早う見知り合ふて、今更晩う然うと知つたか、あさましい因果な戀ぢや、憎い／＼敵をば可愛いと思はにやならぬ』と嘆くのでした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其の夜ロミオは歸らないで、石垣を攀ぢてキャピレット家の庭内へ飛上つたのです。同道したつれのベンゴリオとマーキユシオは求め／＼て遂に求め得ず歸つて了つた。

ロミオが庭の木の間から仰いでジユリエットの美を天の星にたぐへ稱へてゐると、ジユリエットはそれとは知らず二階の窓から出て、『あゝ／＼おゝロミオ、ロミオ、何故に卿はロミオぢや、御父をも嫌い、自身の名をも棄てや、それが否ならばせめても予の戀人ぢやと誓言しや、予はもうキャピレットを止めうほどに』……

……薔薇と云ふ花は他の名でも善い香がする。ロミオとは呼ばいでも、持前の貴い德は殘らう、ロミオどの我有でもない名を棄てゝ、此妾を身も心も取つて下され』

ロミオ『おゝ取りましやう、言葉を其儘一言戀人ぢやと云ふて下され、直ぐにも洗禮を受けましやう、今日からはロミオでない』

と上と下とで語り交はして、もしも正しい眞實の心であつたら、明日使を上げう程に何日何處で式を擧ぐると云ふ返辭をして下され。とかたい約束をして、別れられぬ盡きぬ別れをしてロミオは歸り、ジユリエットは乳母に奥へ呼び入れられる。

ロミオは其足でフライヤー僧ローレンス法師の庵室を訪ねて、ジユリエットとの戀を語り、今日婚禮をさして下されと頼んだ。

ローレンス法師は昨日までロザリンのつれなさに悲痛にくれてゐたロミオの早變りに呆れたのですが、此緣組が原で、モンタギユー、キャピレット兩家の確執を和睦にかへまいものでもない、大に力にならうと、ロミオとジユリエットとは兩親には内密ではあるが、正式にローレンスによつて、其の日婚禮の式を擧げて貰ひ、其の夜ジユリエットをおとづれる手順にしました。

其の日又ヴエローナ市街で、領主の親族のマアキシユオ、モンタギユー家のベンヴオリオ(共にロミオの親友)と、キャピレットの甥チッバルトが爭鬪を始めました處へロミオがやつて來ると、チッバルトはかの宴會の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夜の事を含んでゐて「汝は惡漢ぢや」と惡黨呼はりをして、つゝかゝつて來るのですが、ロミオはもうキャピレット家を敵視する處でないので、仔細あつて怒らねばならぬ挨拶も怒らぬ。キャピレットも我名同樣に大切に思ふと鬪爭をさけやう〳〵として、チッバルトをなだめるので、マアキシユオが見兼ねて劍を拔く、ロミオは領主の嚴命ではないか、ヴエローナ街頭で鬪爭してはならぬと極力止めるのですが、遂にチッバルトの劍先にマアキユシユオは倒されて了ふ。

ロミオは領主には近親予の親友マアキユシオが予故に敢なくなつた、此惡運は此儘では濟むまい。不幸の手始め、結局は將來がせねばならぬと嘆いてゐると、チッバルトが又勝誇つて出て來たので、此上の寬大はマアキユシオの魂に對しても濟まないと遂に劍に訴へチッバルトを倒して了ふ樣な事になつた。ベンゴリオロミオを速う〳〵と急き立てゝ落してやつて、領主の裁判にベンゴリオが始終の始末を逃べロミオが如何に辭和らかに止めても、チッバルトが無理に喧嘩を賣つた由を告げたけれど。ロミオは結局追放と云ふ事になりました。

ジユリエットは今日限りなく幸福になつたロミオにそんな不時の災難が降つて湧いたとは露知らず、早く戀を助くる夜の闇になれかしと一時千秋の思ひで待ちこがれてゐる處へ、ロミオの許へ、夜戀人の巢へ登る繩梯子を取りに行つた乳母が歸つて來て、人もあらうにロミオの手でジユリエットの從兄チッバルトが無慚の最後をとげた事を告げ、乳母はロミオを罵詈し、ジユリエットは悲嘆にくれたのですが兎も角も其の夜はロミオジユリエットは始めてのしかもこれが最後にならうと云ふ、うれしい逢瀨、果敢ない憂いつらい別れの愁嘆場を演じた。

折も折、キャピレット家ではジユリエットの悲嘆にくれてゐるのは、從兄のチッバルトが殺されたからで、早くよい婿をきめたがよいと云ふので、かね〴〵深く所望してゐる。領主の親族である年若い端麗な貴公子パリスに娘を差上げやう、善は急げだ、次の木曜日に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は式を擧げやうとまで定められたのです。ジユリエツトはこれを聞いて驚き悲しみ、せめて一月でも一週間でも延いて下されと賴んでも、我儘もの、娘でない、子でないと父にきつう怒られたので、ローレンス法師に相談に行きました。

ジユリエツトは若しもパリスとの結婚をさけるよい智慧を貸して貰へねば自殺すると云ふので、法師は睡眠藥を與へる事にしました。それを飲むと姫は全く死んで了つたので、家例によつて顏を出したまゝで一番いゝ衣裝をつけて、先祖代々の墓所に葬られました。

一方ローレンス法師は急使をロミオに遣はして、姫を救ひ出すやうにと云ひ送つたのでしたが、使者がさうした大切な急用とは知らず、友人を誘ふてゐる途中で町の檢疫吏に時疫の家にゐたものと誤解されて、とめられて了つて、マンチユアのロミオまで行かれずして戻つて來ました。處がロミオが追放になつた時、ジユリエツトの安否は何にまれ知らせる樣にと命じられてゐた、ロミオの從者が、ジユリエツトの葬式に途中で逢つたので、あわてゝ主人ロミオの處へ注進に及んだ。ロミオは悲嘆のあまり、貧乏な藥種やに四十圓の大金をあてがつて無理矢理に國の法度を犯して毒藥を賣らせて、死なば姫の側にてと驛馬をかけさせて來た、ロミオは從者に手紙を渡して明朝父上に屆ける樣にと命じ、獨りで炬火や鶴嘴をとつて、姫の廟扉を開かうとすると、先前から姫に草花を手向けてゐたパリスが立ふさがつた。

今日いよ〳〵婚禮と云ふ朝になつてから花嫁に死なれたパリスは愁傷のやる瀨なさに花をまいては水注いで供養してゐたのです。パリスはおのれがチツパルトを殺したばかりに姫は悲しみ痛んで死に至つたのに、尙此の上美人の死骸にまで侮辱を加へやうとするかとロミオに手向ふので、ロミオは辭やさしく、死なねばならねばこそこゝに來たのです、どうか命知らずに手出しをして、此上に罪を重ねさせて下さるな、どうか逃げて下されと賴むのですが、パリスが聞かないので、遂に止むなく心ならずもパリスを殺して了ふのです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

死せるジユリエットに接吻して、かの用意の毒薬をのむと忽ち効力が現はれて息たえて了つた。處へ、ローレンス法師が大變だ姫が死者亡者の中で目ざめてさぞこわがつてゐるだらう。早く救ひ出してかくまつておいて、改めてロミオを呼ばうと來て見ると、意外にもパリスは血汐にまみれ、ロミオは毒を仰いで死んでゐるのです。

夢から醒めたジユリエット、あゝうれしい御坊、殿御は何處にと喜んだのは東の間「こりや何ぢや、戀人が手に握りやつたは盃か、さては毒を飲んで、まあかたじけない、……脣を吸ほうぞ、それぞ假の命から眞の命へ回らする大妙薬……まだ温かい脣が……」姫は遂にロミオの短劍で一貫、眞敢なくなつて了つた。

若き悲しみ

大谷華子

『何時迄こんな屈辱の生活を送らなければならないのだらうか』田恵子は今日もこんな事を思つて遣る瀬ない默想にふけつた。(今の老いた人は若い人々ばかり責めます、道德を强ひます、何故前進者は後進者を導くことを知らないのでせう、あゝ私達は孤獨の悲しい胸を力ない兩手に抱いて曠野に佇むの有樣です。けれども私達は只悲しんで許りは居られません。

矢張り宏い宇宙に小さいながらも、短いながらも、肉體と生命とを持つて生れ出た人間ですもの、自己の運命を自分で開拓して意義ある生活を送らなければなりません。力强く生きなければ眞の生命の前に目覺めなければなりません。あらゆる苦しみを體驗しつゝ、靜かに〳〵祈りませう)可成り深い信仰をもつた道子から來た手紙を又讀み返した。泪が滲み出て來た。

『どうして私は苦しみに堪へて行くことが出來ないのだらう』彼女はつぶやいた、泪がまつげを濡らして白い水玉が空中に浮いて居る樣に見える『あゝ早くこんな職業から離れたい、そして侮辱の眼から逃れたい』

彼女はそう思ひながら机のひきだしから半紙を出して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目を押へて泪を半紙に滲み込ました。タイプライターを打つ様な音をたてゝ暖房の石炭のもえる音だらう、聞えて來る。
食堂へ行つた同室の人々の聲がガヤ〳〵近づいて來た田恵子はペンを持つて傳票を書き始めた。

草花の月

尾崎恒子

四月の花は何と言つても櫻を第一として、先づ木の花では梨花、遲咲の桃の花、木藤、躑躅の種類、それに木蓮、こぶし等でございます。
草の花では先づかきつばたを第一と致します。其の他草花は數へれば色々ありますが、先づ一番たくさん出來るのはアネモネ、ヒヤシンス、フリージヤ、ワグネツ、サイネクヤ、矢車草、立藤、金仙花、アラセイトウ等を主なるものと致しまして、大きい花、小さい花、やさしい花、可愛い花、上品な花、意氣向きな花と總體的に分けましても一年中の大部は此の分類に入りませう。春は殆んどすべてに亘つて一季に種類を集めて居りますから、殊に四月、五月は野の草花の最も盛りな時で御座います。
四月は外界の氣が山に、丘に、庭に、櫻が咲き、野に園に、草花が萠えるといふやうに華やかな時ですから室内の裝飾は、殊に生花は成る可く落付いた氣分のものを上品に挿すやうにしないといけません。外界の氣に對しての床しい調和をとるやうに致します。それで客間の床等には櫻等は反つて活けない方が宜しいのです。まあ地味な黒味がかつた籠の花活に、芽の出た青柳に矢車草でも、金仙花でも添へてちよつと投げ入れ挿しにしてお置きになると反つて仰々しく飾り立てた流儀花よりも室が落付いて好いと思ひます。
又四月の半ばから先になりますと牡丹も盛りになりますから、同じく籠の花活へ、或は土燒きの少したつぷりした壺等に、牡丹の一輪か二輪位着いた枝を、葉をたつぷり用ゐて挿すと最も品の好いものでございます

それから應接――西洋式の應接間――の卓等には純白の梨花に濃紫のかきつばたの花を二株三株添へて挿して置くと落付きがあつて、而して陰氣では無く好いものです。又食堂等の中央卓上の花には平らたい水鉢を置いて、それに色々思ひ思ひの草花を取り交せて賑ぎやかに挿すとようございます。

四月の草花は水揚げをしないでも大抵のものは水揚げをします。たゞ牡丹は切り口を火で燒いて、倒さにして燒いた所からずつと葉の方全體に水を二三杯掛けて一時間許り深い水の中へ挿して置くとすつかり水を揚げますから、而して後に挿すと宜しうございます。序でに面白い花言葉を御紹介致しませう。春興にやさしい花の心を探ねるのも趣き多いことではございませんか。

李　忠實
野李　獨立
紅い石竹　純潔にして熱心なる愛
撫子　大膽

瑠璃はこべ　變節
芍藥　羞恥
梨の花　愉快
桃の花　我御身の虜たれ
柘榴　愚鈍
荊無薔薇　初戀
松　向上心
黄色の薔薇　破れし愛
すみれ　忠實
匂ひすみれ　溫順
柏　獨立
紫の藤　歡迎
木毛　信仰
杏　疑惑
林檎の花　誘惑
白の椿　可憐

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

竹の子の料理五種

松宮しん子

竹の子の化學的成分、

水　分	九〇、二一	蛋白質	三、二八
脂　肪	〇、二三	含水炭素	四、四七
纖　維	〇、九〇	灰　分	一、〇一

竹の子の茹で方　竹の子を縦二つに切りザット皮をむき熱湯に糠一掴みを入れ一時間ほど茹で金串をさして無事に通るを程度に鍋を下ろし水の中に暫くつけて灰をぬきます。

一、竹の子の甘煮

材料　中位の竹の子一本、味淋三勺、煮出汁二勺、砂糖大匙二、醤油二勺

茹でた竹の子を亂切にし、鍋に味淋を煮切り、竹の子を入れ煮出汁と砂糖を加へて暫時煮こみ、最後に醤油をさし、竹の子が色のつきし時、鍋よりおろし、皿にもり煮汁をかけて供す。

一、竹の子と烏賊の木の芽和

材料五人　竹の子一本、白味噌五十匁、砂糖二十匁

煮出汁八勺、木の芽少々、烏賊一ぱい

竹の子は茹でしものを亂切にして甘煮よりは薄味に煮上げ、目笊にあげて汁をきつて置き、烏賊を開きて味淋と砂糖、醤油にて薄味に煮つけ、適宜にそぎ切りにして置き、木の芽を水にてよく洗ひぢくをのぞき摺鉢にてよくすり、別の皿に移して置き白味噌をすり更に裏漉にかけ、鍋に入れ砂糖と煮出汁を加へてねりあげさましてから前の木の芽のすりしものを加へ竹の子と烏賊を和へ小丼に盛りて供す。

一、竹の子のホワイトソース

材料五人　竹の子小一、バタ大匙二、メリケン粉大匙一、牛乳一合、鹽小匙一、パスリー少々

茹でし竹の子を薄くきり、フライ鍋にバタ大匙一杯をとかしていためて、別に鍋にバタ大匙一杯をとかしメリケン粉を入れこがさぬよふにまぜ牛乳にてドロ〳〵の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ものをつくり鹽を入れて味をつけ、竹の子を皿にもり出來上りしホワイトソースをかけ、パスリーをみじんにきりてふりかける。

一、竹の子と櫻えびの揚物

材料五人　竹の子半本、櫻えび二合、メリケン粉一合、玉子一、牛乳五勺、鹽小匙一、ラード二合

櫻えびはよく洗ひひげをとり汁をきりて置き、茹でし竹の子を薄くきりメリケン粉に鹽を加へ玉子の黄味と牛乳にて濃きドロ／＼のものを作り玉子の白味をあわだてゝ加へ材料をまぜ、油を煮立て匙にて掬ひ入れ狐色にあげる。

一、竹の子御飯

材料五人（米五合、水三勺、酒二勺、醤油一勺）、竹の子半本、砂糖大匙二、醤油二勺、煮出汁二勺

御飯は、米五合に水三勺、酒二勺、醤油一勺の割にて普通のさつぱりと炊き上げ、竹の子をこまかくきり、砂糖、煮出汁醤油にて味をつけ、御飯を移す時に混ぜ合せて供す。

新案

燃料いらず（富貴蒸煮鍋）徳用無類

△御飯を炊と一度に御惣菜が煮ゐます

お釜に鍋を架けたる圖

（お持合のお釜に合せ本器を御求め下さい）

東京市淺草橋際　阿部彦四郎商店

電話下谷（一九三三）（三三四八）

説明書進呈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手紙の中から

△高梨しげる樣より　梅は咲いてもまだなか〱寒うございます先日は電車の中で誠に失禮いたしました新眞婦人二月號三月號御送り下さいまして有難く存じます一ヶ年分の雜誌代二圓四十錢御送り致しますからどうぞ此後もおよろしく御願ひいたします

お暖かになりましたらば皆樣でお遊びに入らして下さいまし八婦樣の近くでございますから玄戒寺樣とおきゝ下さればすぐ分ります粗茶など差上げ度くございますから。

△伊藤絹枝樣より　先日は久々にて御目にかゝりまことに昔にかはらぬ友情やるせなく逢時のうつるも知らず長座致しいろ〱御もてなしにあづかりありがたく存じました歸途お寒いのに電車までも御送り下さいましてありがたう御座いました私は御目にかゝり一層自分の不甲斐なく世を送る事を恥かしく思ひましたあなたは立派な一家の主婦として又六人の御母君として御盡しになる其丈でもなか〱私共は重荷で御座いますのになほ社會の爲めになる事なら出來得る限りと仰せになりて心身共につゞく限り御活動なさる其心がけはまことに〱結構な事と存じますなほ此上とも世の人形的婦人の爲めに模範となつて下さる事を祈りますさて其後娘も退院致しまして廿四日夜行にて歸名致しましたが次男が廿一日より發熱致し其結果猩紅熱との事で大心配致し入院致し居り何知らず歸名致し驚きました樣な次第でぢき全快致しさうですけれどもそんな事で歸名早々と思ひながら取まぎれ御禮狀も延引致しました。

△鷲尾よし子樣より　あまり御無沙汰いたして何とも申譯がございません十月三日に子供が生れてその前に女中が病氣で田舍へかへりそのまゝ死んだので何もかも家の事を私の手一つで朝から晩まで食事や何やに毎日追はれてゐる始末でございます。それに此所の家もその內ひつこすつもりで毎日かし家をさがしあぐれて居ります明日は御宅の近所のあたりでもさがさうかと考へて居ります今のところは六、四半、三、二で三十三圓でございます、新築の家でございますけれどお話になりません生木（木のかわかない）で作られてゐるものですから天氣のいゝ日はからかみなどはづれますし、雨の日は雨戸がしまりません。生活の改善云々での公設市場などより住宅問題が現在の最大急務ではございませんでせうかなどとつく〱考へさせられて居ります今月末には田舍から女の子がまゐる事になつて居りますから今度は今までのうめ合せに何かと御手傳させて頂き度いと存じて居ります心ならず目をつぶつて御無沙汰いたし失禮いたして居つた私の事を御察して下すつてなどと虫のいゝ事を言ひながら御海容下さる樣願ひあげます。

△大熊玉子樣より　またしても御禮申後れ申譯なく候先日は早速く寫眞御送り下されありがたく存上候御用務御手數かけし段御わび申上候雜誌も引つゞき懸ふたく拜し居候一般婦人に先立ちて社會の爲に御活動のなかにも御篤のあさにも御はなしの中にも母校の風のしみこまれ居候を見出され候金子五圓同封爲換にてさし上候まゝ寫眞代併て雜誌代に御あて被下度御願申上候(東京)

△大谷華子樣より　文子樣、二三月の新眞婦人確に落手致しました、振替を以て三ヶ月分お送りいたしましたからよろしくお頼み致します。

此寒い〱北國にも春は參りました、雪は消えませんけれど大變暖かうございます、そして此頃はコバルトの空を仰ぐことが出來る樣になりました、刻に強い光線が瞳をチクリ〱さします、けれども春と思へば何となくうれしい樣な氣が致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貴女の御事業も着々効を奏しつゝある御様子、ほんとうにうれしく存じます、之からは尚活動しやすいシーズンになつて參ります。どうぞ益々御奮い下さいまして社會の安寧秩序を紊す酒を滅して下さいませ。御家内もお忙しい事でせうに社會の爲に御活動下さる貴女のお心に厚い感謝を捧げて居ります（北海道）

△尼子松代様より　御送りして戴きました。雑誌中血の云々……ほんとうに親子の情美しく拝讀させていただいてわたしにも感じるところが少なく御座いません。其後如何でゐらつしやいますか知らん？讀みました、翌日右の眼を手術いたしましたため三四日休みました。その時にこれこそ神から與へられたる時間とわたしの半生を深く考へました。そして親子の情についても、子供と別れた時の事を思ひ出しまして靜かな生垣の寄宿舎の一隅でホロリとせずにはゐられません、その時の模様のほんの骨だけを心から書いてみたいと存じますけどこれを現はすだけの文才のないのが甚だ殘念に存じますまことにおはづかしいもので御座いますが小さい布切れと小冊は愛婦にと思つて、おとぎの本は御子達にと思ひまして（實は少々參考に見ましたので少しいためております。ほんの御心持ちだけを御納していただきたいと存じます。

△丹下得喜子様より　新眞婦人方の禁酒運動實に御目ざましき御働き感謝して居ります臺灣も昨秋末大阪の矯風會林支部長御渡臺で私も隨行致し全島巡回致し矯風宣傳にまゐりました支部も各地に出來ました婦人が眞に目ざめでは實に致し方がないと思はれますしかし時代は全く婦人をめざめしめました、ます〳〵努力せねばならぬさ少微ながら同志と共に神に祈り志を合せてつとめて居ります。

△梅田あき子様より　拝啓在京中は身に餘る程の御指導や御親切にあづかり誠に嬉數離有御禮申上候當地には昨二時に着き表記の處へ參候（濱松）

△松崎ひろの様より　毎度新眞婦人御懇篤にあづかり有りがたく御禮申上げ候末永く購讀いたし度く候に付振替にて半年分お送り申上ぐべく候まゝ今後ともよろしく願上げ候今月十三日にはいよ〳〵上野にて禁酒運動にお盡し遊ばす由誠に結構なる御事とおよろこび申上げ候私よりこそ願ひ上げ度く存じ居りし折から御快擧のために微力をさゝぐるは此上もなき事にて當日はぜひ參上いたし度く候何とぞよろしく御指揮の程願上候かしこ

△村瀬みち子様より　また例の輕業病（オッコチル稽古）が起つて筆を執つてみたくてならなくなりました、これで訪問の方も中止にいたしましたこんどは落こちても何とかなる様に書きたいものです。またこゝ五ヶ月二食でやつてみます。此程は川上さんが參つて何でも大變御親切にして頂いたさいつて今日大よろこびの手紙が參りました。『どうしてかう御親切な方が世の中にあるかと驚いた』さいふ事でした。私からも山々御禮申上げます。

△宮崎喜代子様より　扨て先日は突然申上げ御無理なる御配達御承知下被新眞婦人御郵送被下れ誠にありがたく去る八日夜たしかに落手申候間右は御承知下被度早速雑誌代御郵送申上べきの處おくれ今朝振替を以て半ヶ年分金一圓二十錢御送申上候間御落手下被度

△成田玉純様より　其後私は知已に會ふ度は貴女の御熱心なる社會的事業運動を物語り候處男子側は禁酒案は絶對不可能との世論を受くる事多々なれど飲酒制限案は大賛成さ申きかされ候故大に心強く今後御活動被下度候

△三田操様より　請願用紙の事につきまして誠に申譯けありません。どうかして全部さ思ひました處とは〳〵無にし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て仕舞ひました事を悔い其の罪に責められてゐるのでございます

先生

ちつとは身分もと思ひましたのが不覺なんでございました

僕は酒がなによりすきだから所得税に關係して來るからなんて一寸も出來ませんのです

さだめし賴みがひない人間だと思し召されゐらつしやいますのでございませふ

どうか先生

またおわびに參ります時もございませふ

決して忘却致しました爲にではございません

どうか自覺者の少い田舍に住んでます此の愚者に一片の同情をもつてお許下さいますやうひたすら願ひ上げます

ほごになりましても先生のお手元へ送り申しておきさへすれば此の次の御用にも立ちます事と限りなき今後の御指導をひたすらお願ひ申次第でございます

△山田愛子樣より　毎度御手紙やら御雜誌やら難有く頂戴致し居りかれこれと用事にかまけて御伺ひも不申上失禮致居候へども益々御發展の御樣子を拜し乍蔭嬉しく御喜び申上居候此度は上野山下にて禁酒宣傳の御催し被遊るゝ御趣おらく家内に閉ぢ籠り居候私久し振にて御高說を承はるとのよろこびに今より胸おどらしつゝ御待ち申べく候私事結婚後八年振にて初めて男子を儲け母となり人々の愛のいかに深きを感じつゝ盡せぬ享樂の夢に醉はんとせしもほんの束の間すべてを投げうち滿身の愛を傾け居候その兒は冷たき骸と化し去り申候後の昨今忘れむとすれども尙未だ在りし頃の樣くづれし笑顏わからぬ言葉で話しつゝ笑ひしその顏その聲など夢となり幻影となりてわが身にせまり血淚更に新らしき血淚をしぼらせ申候それが爲いたく健康を害し候ゆゑ近く熱海に遊び保養致すべく心身を丈夫に致し候上にて御伺ひ申上度存じ居り愛兒の百餘日の生涯はあまりに味氣なく可憐のものにて候ひしが母としての私に幾多の尊き敎訓を遺し置くれ申候、

△岸三樹江樣より　昨年中は雜誌有りがたく御禮申上候私事當地へ參り候以來子供が病氣して入院するやら自分が種々と病氣にかゝり失禮いたしました雜誌代として表記御送りいたします(來翰)

マッサージの出張
治療いたします

本社は數年前から家庭健康顧問會を起し、病氣についての質問に答へて來ましたが、今回マッサージ術の上手な、しかも親切な婦人を得ました、大抵の慢性病はマッサージで全治し得るのですから、どうか本社へ申込んで下さい、特別に御懇切にして治して頂きますから。

新眞婦人定價表（月一回一日發行）

一冊（郵税共）貳拾錢

半年分（郵税共前金）壹圓廿錢

一年分（郵税共前金）貳圓四拾錢

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正十年三月廿八日印刷納本

大正十年四月一日發行

本鄕區駒込動坂町三二七番地

發行兼編輯人及印刷人　西川文子

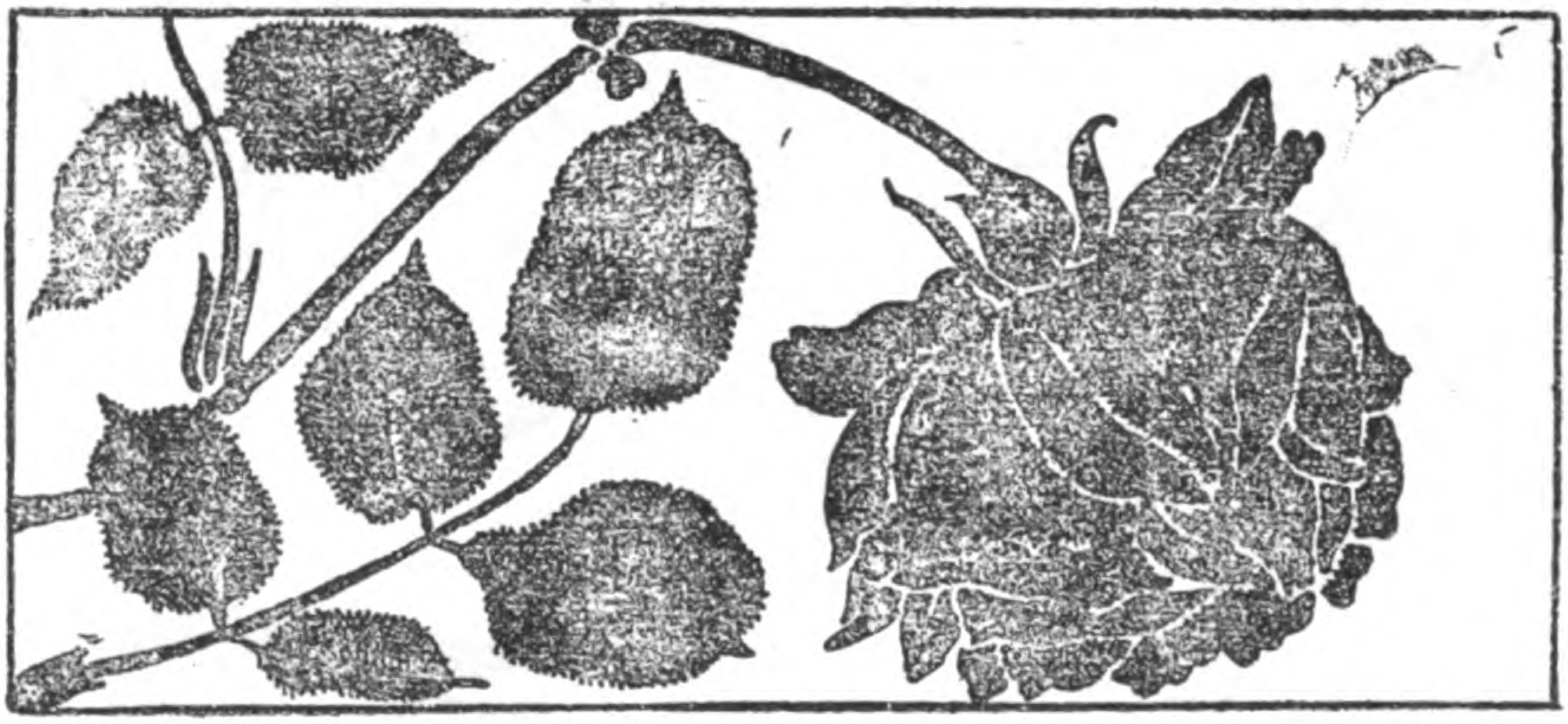
下谷區入谷町三百九十六番地

印刷所　博眞堂

東京市本鄕區駒込動坂町三二七　新眞婦人社

郵便振替貯金口座東京　二四五五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



◆三越の四月◆

◆定休日◆ 一日…… 十五日……

寄裂見切反物賣出し

◆四月一日より……

新製洋傘陳列

◆四月一日より……

五月人形陳列會

◆四月十一日より……

銘仙新柄陳列

◆四月十五日より……

東京

越

三越呉服店

新眞婦人第九拾五號
大正二年二月二十六日第三種郵便物認可
大正十年三月二十六日印刷納本
大正十年四月一日發行（毎月一回一日發行）
定價金貳拾錢